



大学院案内

RITSUMEIKAN
GRADUATE SCHOOL GUIDE
2022



立命館大学 大学院

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
大学院課 衣笠キャンパス 至徳館4F
Tel. 075-465-8195

立命館大学 大学院 入試情報サイト

検索

詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。<http://ritsumei.ac.jp/gr/>
本内容に掲載されている内容については、変更または中止される場合があります。

本誌におけるインタビュー記事およびメッセージ記事について、所属・役職、回生、教育組織・プログラム、活用した奨学金・支援制度名称等は取材当時または在学当時のものであり、現時点において最新の情報ではない場合があります。



2021.04

立命館大学

立 命 館 憲 章

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第2次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類の諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

2006年7月21日 学校法人 立命館

Contents

立命館大学大学院 研究科の概要	02	スポーツ健康科学研究科	33
特色あるキャンパス	03	食マネジメント研究科	34
Topic1 大学院生活	05	理工学研究科	35
Topic2 修了生からのメッセージ	11	情報理工学研究科	36
Topic3 キャリアパス形成支援	13	生命科学研究科	37
Topic4 大学院生の進路・就職	17	薬学研究科	38
Topic5 立命館の研究力	19	経営学研究科	39
Topic6 立命館の国際性	21	政策科学研究科	40
Faculty voice	23	人間科学研究科	41
研究科紹介		テクノロジー・マネジメント研究科	42
法学研究科	25	経営管理研究科[ビジネススクール]	43
社会学研究科	26	法務研究科[法科大学院]	44
国際関係研究科	27	教職研究科[教職大学院]	45
文学研究科	28	お問い合わせ先・移転情報	46
映像研究科	29	学費について	47
言語教育情報研究科	30	大学院入試 出願の流れ	49
先端総合学術研究科[5年一貫制博士課程]	31	各キャンパスへのアクセス	51
経済学研究科	32	立命館大学大学院に関する情報の入手方法	52

立命館大学大学院
研究科の概要

(2021年3月現在)				
	課程	専攻	学位	入学定員
衣笠 CAMPUS	法学研究科 Graduate School of Law	博士課程前期課程 博士課程後期課程	法学専攻 法学専攻	修士(法学) 60名 博士(法学) 10名
	社会学研究科 Graduate School of Sociology	博士課程前期課程 博士課程後期課程	応用社会学専攻 応用社会学専攻	修士(社会学) 60名 博士(社会学) 15名
E	国際関係研究科 Graduate School of International Relations	博士課程前期課程 博士課程後期課程	国際関係学専攻 国際関係学専攻	修士(国際関係学) 60名 博士(国際関係学) 10名
	文学研究科 Graduate School of Letters	博士課程前期課程 博士課程後期課程	人文学専攻 行動文化情報学専攻 人文学専攻 行動文化情報学専攻	修士(文学) 70名 修士(文学) 35名 博士(文学) 20名 博士(文学) 15名
	映像研究科 Graduate School of Image Arts	修士課程	映像専攻	修士(映像) 10名
E	言語教育情報研究科 Graduate School of Language Education and Information Science	修士課程	言語教育情報専攻	修士(言語教育情報学) 60名
	先端総合学術研究科 Graduate School of Core Ethics and Frontier Sciences	一貫制博士課程	先端総合学術専攻	博士(学術) 30名

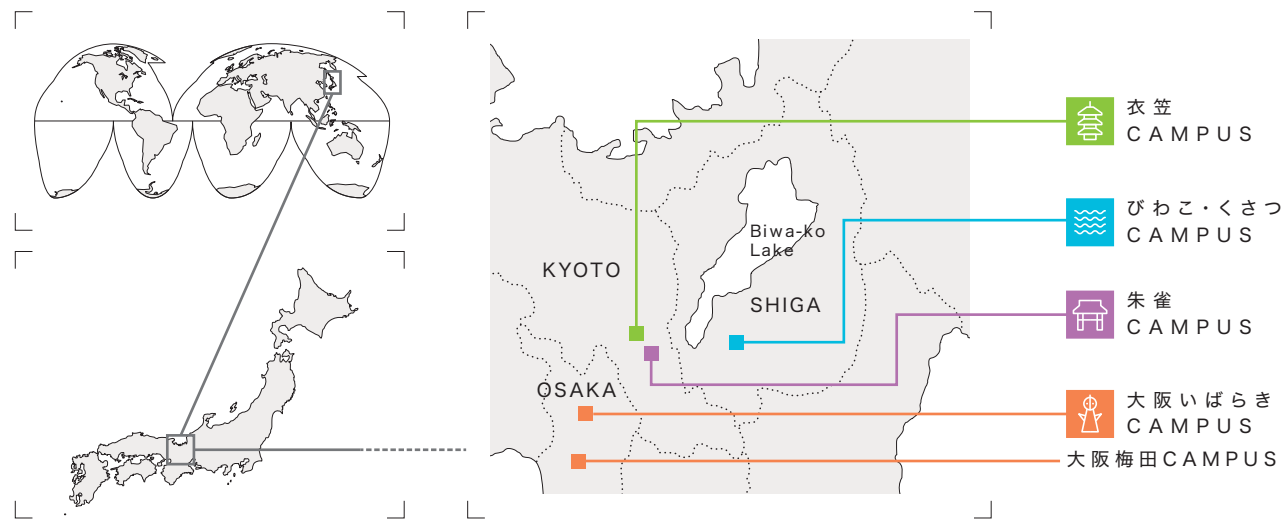
びわこ・くさつ CAMPUS	経済学研究科 Graduate School of Economics	E	博士課程前期課程 博士課程後期課程	経済学専攻 経済学専攻	修士(経済学) 50名 博士(経済学) 5名
	スポーツ健康科学研究科 Graduate School of Sport and Health Science		博士課程前期課程 博士課程後期課程	スポーツ健康科学専攻 スポーツ健康科学専攻	修士(スポーツ健康科学) 25名 博士(スポーツ健康科学) 8名
E	食マネジメント研究科 Graduate School of Gastronomy Management		博士課程前期課程 博士課程後期課程	食マネジメント専攻 食マネジメント専攻	修士(食マネジメント) 20名 博士(食マネジメント) 3名
	理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering	E	博士課程前期課程 博士課程後期課程	基礎理工学専攻 電子システム専攻 機械システム専攻 環境都市専攻 基礎理工学専攻 電子システム専攻 機械システム専攻 環境都市専攻	修士(理学)修士(工学) 50名 修士(工学) 140名 修士(工学) 140名 修士(工学) 120名 博士(理学)博士(工学) 6名 博士(工学) 8名 博士(工学) 11名 博士(工学) 15名
E	情報理工学研究科 Graduate School of Information Science and Engineering	E	博士課程前期課程 博士課程後期課程	情報理工学専攻 情報理工学専攻	修士(工学) 200名 博士(工学) 15名
	生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences	E	博士課程前期課程 博士課程後期課程	生命科学専攻 生命科学専攻	修士(理学)修士(工学) 150名 博士(理学)博士(工学) 15名
E	薬学研究科 Graduate School of Pharmacy		博士課程前期課程 博士課程後期課程 博士課程	薬科学専攻 薬科学専攻 薬学専攻	修士(薬科学) 20名 博士(薬科学) 3名 博士(薬学) 3名

大阪いばらき CAMPUS	経営学研究科 Graduate School of Business Administration		博士課程前期課程 博士課程後期課程	企業経営専攻 企業経営専攻	修士(経営学) 60名 博士(経営学) 15名
	政策科学研究科 Graduate School of Policy Science	E	博士課程前期課程 博士課程後期課程	政策科学専攻 政策科学専攻	修士(政策科学) 40名 博士(政策科学) 15名
E	人間科学研究科 Graduate School of Human Science		博士課程前期課程 博士課程後期課程	人間科学専攻 人間科学専攻	修士(人間科学)修士(心理学) 65名 博士(人間科学)博士(心理学) 20名
	テクノロジー・マネジメント研究科 Graduate School of Technology Management		博士課程前期課程 博士課程後期課程	テクノロジー・マネジメント専攻 テクノロジー・マネジメント専攻	修士(技術経営) 70名 博士(技術経営) 5名
E	経営管理研究科[ビジネススクール] Graduate School of Management		専門職学位課程	経営管理専攻	経営修士(専門職) 80名
	法務研究科[法科大学院] School of Law		専門職学位課程	法曹養成専攻	法務博士(専門職) 70名
朱雀 CAMPUS	教職研究科[教職大学院] Graduate School of Professional Teacher Education		専門職学位課程	実践教育専攻	教職修士(専門職) 35名

・* 夜間にも講義を行っています。詳細は各研究科のウェブサイトをご覧ください。各研究科事務室(P.46)までお問い合わせください。
・E 授業を英語で行う科目のみで学位取得に必要な単位を取得できる研究科および課程

地域に根ざし、世界と協働する 教育・研究を支える4つのキャンパス

日本の文化、政治、経済の中心地として長らく栄えてきた関西。
日本の歴史を受け継ぐ世界遺産や国宝を数多く有するだけでなく、古都京都、自然豊かな滋賀、ビジネスの街大阪、
と象徴されるように、さまざまな個性と魅力をあわせもち、世界を代表する国際都市として日々発展を続けています。
それぞれ特色あるエリアに配置した4つのキャンパスで相互連携し、
人類・自然・地域社会の発展に貢献する最先端の取り組みに挑戦しています。

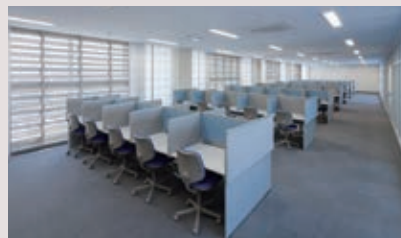


■大学院生の学修・研究環境

立命館大学では、大学院生の多様な研究スタイルに対応できる環境の整備を進めています。

個人で学修・研究を集中して行える 「研究スペース」

静寂性に配慮したクローズな空間として大学院共同研究室を整備。パーティションで仕切られたキャレデスクで論文執筆や発表資料などを落着いて進めることができます。



大学院共同研究室 (OIC)

グループでの作業やミーティングで活用できる 「打ち合わせスペース」

共同研究などでグループ作業を行う際や簡単なミーティングをすることが出来るスペースを整備。パソコンやプリンターもあります。



究論館打ち合わせスペース (衣笠)

研究成果を発信して研究科を越えた交流を促進する 「コミュニケーションスペース」

オープンな形式でのセミナーやプレゼンテーション、ポスターセッションを開催するなど、研究科を越えてコミュニケーションが図れるスペース。キッチンやカウンターも完備し、一息つけるラウンジとしての空間もあります。



究論館パフォーミングスペース (衣笠)

日本国内有数の蔵書冊数を誇る 「図書館・資料室」

蔵書冊数は私立大学トップクラス(約335万冊)、各資料室には専門性の高い研究資料を多く所蔵。大学院生は100冊を100日間借りることができます。



平井嘉一郎記念図書館 (衣笠)

■キャンパス紹介



京都／衣笠CAMPUS

古都・京都の歴史と文化が息づく、 多様な人文社系研究科が集まるキャンパス

古くから日本の中心として、長く厚みのある歴史をもち、多くの文化遺産に囲まれた地、京都。その中でも、古都の名刹に囲まれた閑静なエリアに位置し、日本の伝統や文化に触れながら先端の研究を世界へ発信する、伝統と創生のキャンパス。

- 法学研究科 ●社会学研究科 ●国際関係研究科 ●文学研究科 ●映像研究科*
- 言語教育情報研究科 ●先端総合学術研究科



滋賀／びわこ・くさつCAMPUS

豊かな自然を活かし、国際水準の教育・ 研究環境を備えたキャンパス

私立大学最大級の理系教育・研究施設を備えるびわこ・くさつキャンパス (BKC) は、琵琶湖を含む大自然や、企業の研究施設が近くに位置する立地を活かした研究活動を実施しています。世界標準の教育研究、知見、技術を創出し、世界・地域へ発信するイノベティブ・キャンパス。

- 経済学研究科 ●スポーツ健康科学研究科 ●食マネジメント研究科
- 理工学研究科 ●情報理工学研究科* ●生命科学研究科 ●薬学研究科



大阪／大阪いばらきCAMPUS

商都・大阪で教育・研究のフィールドを アジアへと広げるキャンパス

大阪いばらきキャンパス (OIC) は、「アジアのゲートウェイ」として国際的な学びの拠点として位置づけています。また、「商都・大阪」という地域性を活かして、地域・社会と連携した教育・研究を進化させている最新のキャンパス。

- 経営学研究科 ●政策科学研究科 ●人間科学研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科 ●経営管理研究科 [ビジネススクール]

■サテライトキャンパス 大阪梅田CAMPUS 大阪・梅田駅前に位置する、アクセス至便のキャンパス

社会的ネットワークの強化や就職支援に加え、学び・研究の拠点として大学院の授業を展開。多目的に利用できる最新設備を備えています。

- 言語教育情報研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科
- 経営管理研究科 [ビジネススクール]



京都／朱雀CAMPUS

京都の歴史・文化と、都市の利便性・ 充実の研究設備をあわせもつキャンパス

専門職大学院を抱え、多様な研究スタイルに応える充実した研究設備や自習環境を備えています。古都・京都の中心部に位置し、京都の歴史・文化に触れながら、都市型キャンパスの利便性をあわせもつキャンパス。

- 法務研究科 [法科大学院]
- 教職研究科 [教職大学院]

※映像研究科、情報理工学研究科は2024年4月に大阪いばらきキャンパスへ移転します。

大学院における研究活動の流れ

大学院生がどのように研究や就職活動を行っているかご存知ですか。各課程の例をご紹介します。
※以下は過ごし方の例であり、研究科や個人により異なります。

		博士課程前期(修士)課程	博士課程後期課程	専門職学位課程 (経営管理研究科) [マネジメントプログラムの例]	専門職学位課程 (教職研究科)	専門職学位課程 (法務研究科) [法律未修者の例]	4年制博士課程	一貫制博士課程
1年目	春学期	● 授業選択 ● 修士論文のテーマを見つける		● 基礎科目を中心に履修(春1クォーター・春2クォーター) ● 「フィールドワーク」を受講(夏集中科目)	● 実習校・コースの決定 ● 教員採用試験の受験準備 ● 教職専門研修(実習)の実施	● 講義科目で徹底して各法の基礎を学ぶ ● 実務家教員による「法曹倫理」を受講 ● エクステンションセンター講座を受講(司法試験合格まで)	● 研究テーマの設定、課題絞り込み ● 研究計画書提出 ● 研究の具体化	● 研究課題の絞り込み ● 研究指導計画書提出 ● 論文作成基礎力養成 ● 調査、資料収集、文献研究等
	秋学期	● 就職活動の準備、情報収集 ● 修士論文のテーマを絞る ● 勉強会への参加 ● 就職活動準備	CHECK! 博士課程後期課程に進学する場合は2年目の秋学期に入学試験を受験する場合があります。	● 展開科目を中心に履修(秋1クォーター・秋2クォーター)	● 教職専門研修報告会 ● コース科目の履修 ● 2年目の長期実習に向けた振り返りと計画作成		● 研究中間発表会	● 研究課題の具体化 ● 論文作成基礎力養成 ● 調査、資料収集、文献研究等
2年目	春学期	● 学会参加、発表 ● 就職活動 ● 修士論文の研究計画書の立案		● 課題研究レポートのテーマを設定し、執筆開始(春1クォーター) ● 課題研究と展開科目を中心に履修(春1クォーター・春2クォーター)	● 教員採用試験の受験準備 ● 教職専門研修の実施 ● 教職専門研修報告会	● 演習科目で応用力を身につける ● 基礎法学・隣接科目で視野を広げる ● 夏期短期海外プログラムなどで国際性を磨く	● 研究計画の進捗確認・見直し ● 学会参加、発表	● 研究指導計画書提出 ● 紀要・学会誌等の論文執筆 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 博士予備論文執筆
	秋学期	● 中間報告会準備・発表 ● 修士論文の提出 ● 口頭試問、公聴会 ● 修士号取得		● 中間報告会(秋1クォーター) ● 課題研究レポートを提出(秋1クォーター) ● 研究成果報告会(秋2クォーター)	● 実習の振り返りと理論化を行い、「理論と実践の往還」による学びの成果を「教育実践探究論文」にまとめる		● 研究中間報告会 ● 投稿論文執筆	● 博士予備論文提出、口頭試問 ● 修士課程相当30単位を取得 ● 調査、資料収集、文献研究等 ※修士号取得退学可
3年目	春学期	文学研究科 文化情報学専攻 博士課程前期課程 1回生 戸塚 史織さん ▶ P.07	● 博士論文テーマの絞り込み ● 研究会参加 ● ゼミでの研究報告			● 臨床科目で法実務の現場(法律相談)を体験 ● 選択科目を受講しながら将来の専門分野を検討 ● 司法試験に出願(修了後に受験*) *司法試験の受験時期は関連法案の改正により変更になる場合があります	● 研究計画の見直し、精緻化	● 研究指導計画書提出 ● 学会参加、発表 ● 紀要・学会誌等の論文執筆 ● 調査、資料収集、文献研究等
	秋学期		● 海外リサーチ ● リサーチ資料の整理・分析 ● 論文投稿			CHECK! 法学未修者コース：3年 法学既修者コース：2年の2つのコースがあります。	● 研究中間報告会 ● 学会参加、発表	● 学会参加、発表 ● 調査、資料収集、文献研究等
4年目	春学期	経済学研究科 経済学専攻 博士課程前期課程 1回生 入江 礼新さん ▶ P.08	● 資料収集・資料整理・分析 ● 学会参加、発表 ● 2本目の論文投稿テーマ設定				● 博士論文執筆	● 研究指導計画書提出 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 学会参加、発表 ● 紀要・学会誌等の論文執筆
	秋学期	政策科学研究科 政策科学専攻 博士課程前期課程 1回生 齊藤 優里花さん ▶ P.09	● 資料分析 ● 投稿論文執筆 ● 博士論文執筆			法務研究科 法曹養成専攻 法学未修者コース 専門職学位課程 1回生 中澤 啓さん ▶ P.10	● 博士論文提出 ● 口頭試問 ● 公聴会(一般公開) ● 博士号取得	● 調査、資料収集、文献研究等 ● 学会参加、発表 ● 博士論文執筆
5年目	春学期		● 博士論文構想発表会 ● 博士論文執筆 ● 学会参加、発表					● 研究指導計画書提出 ● 博士論文構想発表会 ● 調査、資料収集、文献研究等 ● 紀要・学会誌等の論文執筆
	秋学期		● 博士論文提出 ● 口頭試問、公聴会 ● 博士号取得					● 調査、資料収集、文献研究等 ● 博士論文提出 ● 口頭試問、公聴会(一般公開) ● 博士号取得

P.07～12のインタビュー記事は、個人の当時の経験や感想を通して、大学院での生活や雰囲気をご紹介することを主旨としており、当該研究科の現在のカリキュラム、プログラム、状況等とは異なる場合があります。

現役院生からのアドバイス

文学研究科 文化情報学専攻 博士課程前期課程1回生

戸塚 史織さん

研究テーマ 江戸中期の歌舞伎と勝川派の役者絵

私が研究対象とするのは江戸時代の歌舞伎です。歌舞伎は当時の大衆演劇で、時代的にも内容的にも、とても幅広い研究分野です。現在はその中でも役者絵に注目しながら、歌舞伎が盛り上がった江戸中期の様子を探りたいと考えており、博士課程後期課程への進学も検討しています。

浮世絵や古典籍、当時の日常道具まで色々なものが研究資料になることや、一見古めかしく難解にも見えるものを、最新のデジタル技術を駆使しながら明らかにする研究手法がとても面白いなと感じています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春学期	秋学期
1回生	・入学、授業スタート ・修士論文構想、調査	・修士論文構想、調査 ・資料収集、分析 ・研究会活動 ・学会発表、論文投稿
2回生	・修士論文構想、調査 ・資料収集、分析 ・学会発表、論文投稿	・修士論文執筆→提出 ・修了

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	PA*		PA*	PA*	PA*	基本的に趣味に没頭、リフレッシュする
第2時限						・韓国語学習
第3時限			授業	調査		・美味しいものを食べに行く
第4時限		調査	授業	授業	調査	・本を読む
第5時限			研究会			・映画を見る など
第6時限			セミナー			
第7時限						

*PA…プロジェクトアシスタント

ある1日のスケジュール

9:00	起床	
10:00	登校	学内でのアルバイト
12:00	昼食	
13:00	資料調査	浮世絵などの資料を見たり分析したり
16:20	授業	
18:00	文献調査	論文を読む
19:30	帰宅	
22:30	夕食・自由時間	
25:00	軽い作業	英語学習など

学部時代にはできなかった、特別な経験

研究が面白い、好きだなと感じて進学した私にとって、好きなことにどっぷりと浸かっていられる点は大学院の大きな魅力です。特に、インターン形式の授業（外部機関や外部の研究者と協力しながら研究活動をおこない、単位が授与される）は、とても充実しています。授業を通じて、外部機関から新しい技術を学ばせてもらうことができますし、そこで人との繋がりも生まれます。

また所属する研究室は世界中の色々な機関と繋がりががあるので、例えば大英博物館や、カリフォルニア大学バークレー校の東アジア図書館の中に入って、デジタルアーカイブに取り組むこともあります。普通の大学生・大学院生は驚くような、発展的な取り組みだと思います。その他の海外の機関でも浮世絵・古典籍を中心にアーカイブを進めたり、様々な伝統芸能の撮影に行ったりもします。今年は残念ながらコロナ禍の影響で海外での活動は困難でしたが、国内の機関と一緒に、3Dアーカイブの研究を進めました。



▲デジタルアーカイブ作業 (ARC)



▲浮世絵データベース

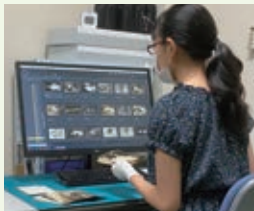
アルバイトは、PA(プロジェクトアシスタント)

主なアルバイトはPAです。PAでは、直属の先生のプロジェクトをアシスタントしています。インターンと似ているところもありますが、インターンは授業なので、研究分野に関わらず色々な学生が受講しているのに比べ、PAは自分の研究分野に沿った先になり

日々の研究は、自宅やアートリサーチセンター(ARC)で

浮世絵を研究対象としていて、どちらかと言えば一人でじっくり取り組むことが多い研究スタイルです。デジタルアーカイブによってデータベース化された浮世絵を、インターネット上で一枚一枚見ながら、この絵が何なのかな、というのを様々な資料を突合せながら考えていきます。WEB環境を作っていくことも私の研究課題のひとつなので、コロナ禍で大学に行けなかったときでも、自分のパソコンさえあればなんとかなりました。

大学にいるときは、主に指導教員の研究室があるARCで研究に取り組んでいます。ARCには、デジタルアーカイブの最新設備が整っています。



▲デジタルアーカイブチェック

ます。私の場合は、インターンも直属の先生の繋がりが先に行くことが多いので、行先はどちらも似ています。学内で、自分の興味関心や研究内容に密接に関わるアルバイトができる点に、魅力を感じています。

大学院進学を検討する人へ

大学院進学については、様々な面で不安があると思います。私もそうでした。ただ進学してみると、やはり学部の時より恵まれた環境で充実した研究ができますし、密な議論や学びがあり、自分の興味あることに向き合える幸せな時間を過ごせています。直感的に研究が好きだと感じるのであれば、大学院進学を選択肢から外す前に、是非悩む時間を取ってみたいと思います。

現役院生からのアドバイス

経済学研究科 経済学専攻 博士課程前期課程1回生

入江 礼新さん

研究テーマ 地域における産官学連携によるAI/IoTを活用した持続可能な地域経済発展の試みと課題

中小企業支援に焦点を置いています。子供の頃に行った商店街を再訪したとき、閑散としている状況にショックを受けたことが、この研究をしようと思ったきっかけです。地域の経済を担う中小企業が生き残るためには、ICTなど技術が必要になってくるだろうという視点で、どのような枠組みや政策で支援できるか考えたいと思いました。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春学期	秋学期
1回生	・入学 ・授業選択、大学院生活スタート ・フィールドワーク(滋賀県日野町)	・修士論文構想 ・修士論文のための資料収集 ・研究会の現地調査 ・就職活動準備
2回生	・就職活動開始 ・論文構想(中間)発表会 ・修士論文執筆開始 ・研究会論文執筆開始	・修士論文発表 ・研究会論文発表(国内学会参加) ・大学院修了

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限	地域文化経済論				研究・課題	平日に終わらなかった課題
第2時限			研究会	地域ブランド論	TA	ゼミの調べもの
第3時限	研究・課題	研究・課題	研究会	地域産業研究	ゼミ	息抜き、気分転換(カフェ、京都まで出かける)
第4時限			研究・課題	研究・課題		夜には映画やドラマなどを観ています!
第5時限			アグリビジネス論			
第6時限	アルバイト	自由時間	研究・課題	自由時間	アルバイト	
第7時限						

ある1日のスケジュール

6:30	起床・朝食	
9:00	登校	授業の出席管理や、オンライン授業の接続確認など
10:40	研究・課題	
12:10	TA	
13:00	昼食	
14:30	ゼミ	
16:15	自由時間	平日は、週に1〜2回アルバイト
21:00	帰宅	
22:00	夕食など	レポート課題やゼミに向けて調べもの
23:00	調べもの	
就寝		

他分野からの進学

学部の専攻は、経済ではなく国際関係です。国同士の関係をみていく中で、経済を学べば国際関係をより深く理解できるのではないかと思います。学部のうちから経済の授業も受けていました。就職活動の時期になると、一般的な事務の仕事よりは、社会に貢献できる専門的な仕事がしたい、専門的な知識を活かして働きたいと考えるようになりました。一方で、自分はまだ何もわかっていないし、学部だけの知識では足りないだろうなと思い、大学院への進学を決意しました。興味が増していた経済学の理解をより深めたいと思い、進学先は経済学研究科にしました。

研究に集中できる環境が整っていることが、大学院の強み

大学院は必要な単位が少ないため、授業で埋まる時間が少なく、研究に使える自由な時間が多くあります。また、授業はすべて自分の研究に関連しているので、授業で得た内容が研究の進捗に直結します。そして、指導いただく先生との距離感が学部時代よりもずっと近く、コミュニケーションが本当にとりやすいと感じます。研究の進め方で悩むこともありますが、先生からフィードバックを頻繁にいただき、方向性が掴めるように指導して下さいます。時間の融通、授業内容、指導教員との距離、あらゆる面で研究に集中できる環境にあります。また、研究会を立ち上げることも容易です。大学院には「学生研究

議論の場数が踏めるのは、大学院ならではの

私はもともと、議論や会議の場で自分の考えを話すことがとても苦手でした(今でも苦手意識はあります)。学部の時は大人数で一方向的に先生の話を聞いていればよかったのですが、大学院の授業は少人数での討論形式に近いので、自身の意見を言う機会が本当に多くなりました。議論の場で発言するということは、まずは相手の意見を自分の中に落とし込んで、その上に意見を重ねていくということです。授業を受けることで、相手の話の要点がどこにあるか集中しながら話を聞くこと、話を聞くと同時にそれに対する自分の意見を整理すること、整理した内容をまとめた意見として口に出すことができるようになってきたと思います。この力は就職してから必ず必要になってくるし、このスキルを身に付けるには経験しかないと思うので、大学院で場数を踏めたことは本当に良かったと思います。

会活動支援制度」があり、1研究会あたり年額10万円を上限として、研究会活動で必要になる交通費や郵送料などの経費が支援されます。授業でフィールドワークに行った後、この制度を使って、その地域で行われている事業の経済効果を調べようという研究会を立ち上げました。同じ専攻のメンバーに加え、他研究科のメンバーも参加し、幅広い内容で意見交換ができる、楽しく充実したミーティングを行っています。このように、学生の研究活動を支援する制度が整っている点も、研究に集中できる大学院の強みだと思います。



▲研究対象としている滋賀県日野町の街並み

大学院進学を検討する人へ

学部の時より自由な時間が多いので、どれだけ時間を有効に使うかが大事です。その分興味のあること、やりたいことにどんどん挑戦できるし、その環境も整っています。また、指導教員や他のゼミ生、研究会などを通じて、新しい出会いがたくさんあるのも魅力です。文系の院生は珍しくもありますが、文系院生だからこそ描けるキャリアマップも必ずあると思います。

現役院生からのアドバイス

政策科学研究科 政策科学専攻 博士課程前期課程1回生

齊藤 優里花さん

研究テーマ 地域主導による再生可能エネルギー事業の展開

地域(自治体)が主導で行う再生可能エネルギー事業は、まだまだ普及していません。そのため、政策的な視点で事例整理を行うことで、今後再生可能エネルギー事業を行おうとする地域(自治体、団体)に資することを目指しています。修了後は、今の研究に関連する事業を、直接自分で進行していけるような仕事をしたいと考えています。



大学院での過ごし方

大学院生の2年間

	春学期	秋学期
1回生	・学会参加・発表(卒論) ・文献調査 ・他授業	・修士論文のためのインタビュー調査 ・TA ・ワークショップでの発表 ・インターンシップ参加
2回生	・就職活動 ・論文検索	・修士論文執筆 ・学会参加・発表

大学院進学プログラムで学部時から先取りしていたので、授業は少なめ。

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限						
第2時限					自宅研究	基本は自由時間 友人とご飯など...
第3時限	研究室	TA	授業		大学図書館	
第4時限			研究室	発表資料修正		課題が終わっていないときは、課題をすることも。
第5時限					授業	
第6時限	アルバイト	発表準備	ゼミ	読書		
第7時限			研究室	読書	アルバイト	

ある1日のスケジュール

8:00	起床	
10:30	登校	
14:40	授業の課題	レポートの添削など作業の合間に食堂などで昼食
18:00	ゼミの発表準備	翌日のゼミにむけて準備 合間に夕食をとる
21:30	帰宅	
22:00	自由時間	発表準備続き 声を出す発表の練習は、自宅です
24:00	就寝	

授業や学会発表をとおして、成長を実感できる

授業は、グループワークが中心です。課題・テーマが与えられる→レポートを準備・発表する→また課題が与えられる...という流れを繰り返し、調査～発表の一連の経験を数多く重ねています。ゼミは指導教員と1対1のイメージがありますが、私の所属するゼミは、5名の教員と、それぞれの教員が指導する大学院生で構成されています。数週間に一度ゼミで発表するため、発表内容について指導教員の個別指導を受け、内容を推敲します。発表では質疑応答の時間が長くとられており、次々に出される質問にその場で考えながら答えていくのですが、指導教員とは異なる専門領域の教員から、思いもよらないような視点での質問や、アド

バイスをいただくことができます。そこが面白い点でもありますし、質問への回答を繰り返す中で、論理的思考力が日々鍛えられていると感じます。

また、1回生で発表者として学会へ参加しました。発表時間が短く、論文のすべてを発表することはできなかったため、最も重要な部分を端的にわかりやすく伝えるために、どのような論理構成でどのような言葉で伝えるか、という点を重視しながら、発表練習を繰り返しました。質疑応答に備え、参考文献にも数多くあたりました。発表者として参加することで、自身の論文の核となる部分を考えてことができたとともに、人に何かを伝えるために話の構成を考え、それを言葉にするトレーニングもできたと思います。

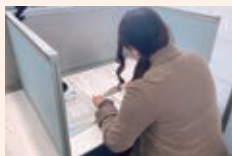
少人数だからこそ、貴重な機会に恵まれる

TAとしてはデータ分析の仕事が多いのですが、自分の研究では扱わない領域のデータを整理・分析することもあります。またレポートを採点したり、研究科紹介動画を作成するなど、機会が無ければ自分からはしなかっただろう経験をいくつもしています。大学院生になると、少人数であるために教員や大学との距離が近くなり、学部時代にはできなかった貴重な経験に恵まれていると感じます。



研究場所は、気分によって変える

1か所に留まって集中することが苦手なので、気分によって研究場所を変えています。OICには大学院生が優先的に使用できるフロアがあり、静かで集中できる場所が多くあります。座り心地の良いソファがあったり、見晴らしの良い場所があったり...共同研究室を使うこともあります。一人で研究していると気持ちが追い込まれることもありますが、自分が心地良い場所を選びながら、リラックスして取り組むようにしています。



大学院進学を検討する人へ

大学院では一瞬で時間が過ぎていくため、どのようにして研究を進めるかを常に考える必要があります。授業で毎日の時間が埋まることはなく、学部生と比較して自由な時間が多くある分、日々の過ごし方についても自主性が問われます。一方で、まとまって時間が取れる貴重な機会でもあるので、有効に活用すれば充実した時間を過ごせます。大学院の時間をどのように使いたいのか、進学前から検討しておくとい良いのではないのでしょうか。

現役院生からのアドバイス

法務研究科 法曹養成専攻法学未修者コース 専門職学位課程1回生

中澤 啓さん



一度社会に出たことが、大学院進学へのきっかけに。

大学卒業後、一般企業において顧問弁護士と関わる中で、法律の知識が武器になることや、専門性をもとに仕事をする魅力と強みに気づき、大学院進学を決意しました。仕事として法律を扱うには表面的ではない深く掘り下げた専門知識が必要であると考え、法学部卒ではありませんでしたが、未修者コースで基礎から学びなおすことを選択しました。

大学院での過ごし方

大学院生の3年間

1回生	・1年間で大学学部4年間の基礎の勉強を終える。 ・司法試験の短答式問題、論述問題を解き始める。
2回生	・既修者コースと合流、応用的な授業を受ける。 ・司法試験に向けた勉強の比重を上げていく。
3回生	・司法試験合格を目指し、実践的に問題を解く。 ・論述を立案し、弁護士の先輩方の添削を受ける。

ある1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土/日
第1時限		刑法B	法曹倫理	自習	自習	
第2時限				民法V	憲法B	・午前中は自習 ・午後は自由時間 京都を楽しむ 寺社仏閣、お酒 など
第3時限	自習	自習		商法II	自習	
第4時限		民法III		自習	民法IV	
第5時限	商法III		自習			午前中に自習できなかったら、午後に。
第6時限	自習	自習		ゼミ	自習	
第7時限				自習		

ある1日のスケジュール

5:30	起床	
6:00	自習	自宅で自習したり、カフェでしたり
登校		
9:00	授業	
11:30	昼食	
13:00	予復習	自習室利用
14:40	授業	
16:30	自習	カフェなど、外で自習
19:30	帰宅	
25:00	夕食・自由時間	
就寝		

安心して自分の勉強だけに集中できる、厚い学生フォロー体制

入学して一番驚いたことは、学生が勉強だけに集中できる適切な環境を提供しようと、大学が手を尽くしてくれることです。フォローは入学前から始まるため、安心して入学することができました。また、今年の前半年はコロナ禍で対面授業が厳しい状況でしたが、学内システムを通じた丁寧なコミュニケーションがあったので、オンライン環境でも余計な心配なく勉強だけに集中できました。後半期に向けては、対面授業を実現するため、全力で環境を整えていただいていると感じました。このフォローの姿勢が、教育プログラムや各種サポートの充実にも表れていると感じます。

人との繋がりが広がっていく

コロナ禍で人と会う機会が例年より少ないはずですが、それでも十分に人との繋がり、ネットワークの広がりを感じられます。クラスは少人数のため全員と話しますし、課外プログラムの「弁護士ゼミ」ではOB・OG弁護士から学習指導を受けることができます。また、直近で合格した修了生がメンターになり、適宜勉強で困ったことや悩みがないか等の相談にのっていただけます。仲間とも教員とも距離が近く、人間関係は緊密です。勉強は自分一人で頑張らなければならない部分もありますが、ここでは様々な支えを感じながら勉強に邁進することができます。

著名な教授陣、楽しい授業

教えてくださる教授陣は各分野で有名な方々なので、非常にレベルの高い授業を受けることができています。教授は関西出身の方が多く、高名な方でも非常に距離が近く感じますし、面白い先生ばかりです。また、授業でよく使われるのも関西弁。自身が関西出身ではないため新鮮だということもありますが、関西弁での授業は親しみやすく、聞いていて楽しいものです。司法試験の勉強は厳しいものですが、中でも授業が楽しく受けられることは、心のゆとりにも繋がっているように思います。



▲授業(イメージ)

自習できる環境が整っている

少し音ができる環境の方が集中できるので、普段はカフェや、キャンパスのラウンジで自習しています。駅に近くアクセスの良い場所にあるため、周辺にはコンビニや店舗が数多くあり便利です。授業の合間や、静かに集中するときなどは自習室も活用します。比較的新しいキャンパスであるため校舎が綺麗で、館内に無線LANが整備されているなど、快適に自習できる環境が整っています。



▲自習室



▲カフェテリア・ラウンジ

大学院進学を検討する人へ

法曹を目指すにはいくつかルートがありますが、ロースクールでは多様なバックグラウンドを持つ人と共に学ぶため、社会に出たとき必要になる知識など、同級生から教われることがあります。また、自身が社会人を経ている経験からも、ここで築けるネットワークは、法曹として働くときプラスになると確信します。「法曹になりたい」と、いつか思う可能性があるのであれば、お勧めできる進路です。



言語教育情報研究科
衣笠
キャンパス

2012年3月
修士課程修了

多田 一馬さん

アマゾンジャパン合同会社 勤務

興味ある学びに溢れ、毎日が充実していた大学院生活

大学在学中は文学部で日本史学を専攻していましたが、塾講師のアルバイトで英語を教えるようになったことで、英語という言葉に興味を持ちました。そこで英語教員の専修免許状の取得を目指しながら、言語学を学べる言語教育情報研究科に魅力を感じて進学することにしました。

進学後は、とても充実した日々を過ごしました。大学時代に地理歴史教員の一種免許状は取得していましたが、大学院ではさらに英語の専修免許状を取得するために必要な授業を履修していたので、授業の数は他の修士生の倍以上だったと思います。また、TESOL資格取得プログラムにも興味があったので、1回生の夏にはオーストラリアのサザンクイーンズランド大学に5週間留学し、英語非母語話者への英語教授法についても学びました。言語教育情報研究科では、自身が所属するプログラム以外の専門科目も履修できたので、英語情報に関する授業だけではなく、興味のある英語教育や日本語教育に関する授業も積極的に履修するようにしていました。

当初は英語教員を目指して大学院に進学しましたが、大学院での経験を経て、自分が本当にしたいことを見つけ、最終的に民間企業に就職しました。

大学院には、大学とは違った刺激があります。今何をしたいかわからないという方は、ぜひ前向きに進学を検討してみてください。

「深く分析する」経験が、仕事での強みに繋がる

研究職とは関係のない民間企業に就職したため、学んだことを直接仕事に活かしているわけではありませんが、大学院で身に付けた「物事を深く分析する力」は、自身の大きな強みになっています。

アマゾンではOur Leadership Principles(OLP)と呼ばれる全社員が大切にする行動指針があり、その中にDive Deepという項目があります。問題を解決するときはその真因を探るために「深く潜る」ということですが、大学院では履修科目に関係なく、この深く潜るサイクルの繰り返しでした。その経験から得た自身の強みを、まさに今、活かすことができています。



経営学研究科
大阪いばらき
キャンパス

2019年3月
博士課程前期課程修了

河野 広夢さん

独立行政法人
中小企業基盤整備機構 勤務

現場を見て、経営者の話を聴くのは有意義な経験だった

父が中小企業を経営しており、いずれは事業を承継する立場にあることから、学問として中小企業について学びたいと思ったのが進学の実動機です。

研究テーマは「産業集積サプライチェーンと事業継承」です。後継者がいないために事業が継続できない事業承継問題は、今、中小企業にとって大きな問題となっています。中小企業が集まる産業集積地では、細かな分業体制が構築されているため、1企業の事業承継問題が体制全体に影響するのです。国が推進する大企業によるM&Aや第三者による承継は、これまでの体制を破壊するのではないかという問題意識から研究を始めました。

研究を進める中で、東大阪地域の零細企業約20社にインタビュー調査を行いました。最近起こった問題なので先行研究も少なく、協力していただける企業も少なかったため、心が折れそうな時もありましたが、実際に企業と交渉して協力をいただくまでの交渉力や行動力を身につけることができましたし、ものづくりの現場を実際に見て、経営者の思いを聴くことができました。

立命館と大阪府中小企業家同友会との連携協力協定の一環として開設された課外プログラム「事業継承塾」では、毎週、中小企業の経営者が来てくださって、自身の経営の紆余曲折や事業承継についてお話しください。経営理念を持つことの大切さや従業員との関わり方、ファミリービジネスとして家族関係の大切さも学び、私自身も、もっと父と話さなければと思うようになりました。

大学院で身につける専門性、論理的思考力、批判的な視点、考えを自分の言葉で表現する能力は、社会人としての大きな武器

研究を通して得た現場での経験は、自分自身の人生を考える上でも有意義でした。就職先として中小企業を支援する機構を選んだのも、大学院での学びがきっかけです。

大学院は、与えられた課題をこなす「勉強」ではなく、興味のあることを深く追求する「研究」を行う場です。その過程で身につける専門性、論理的思考力、批判的な視点、考えを自分の言葉で表現する能力は、社会人としての大きな武器になると思います。それが大学院で学ぶことの意味ではないでしょうか。



生命科学 research 科
びわこ・くさつ
キャンパス

2018年3月
博士課程前期課程修了

山内 優子さん

イービーエス株式会社 勤務

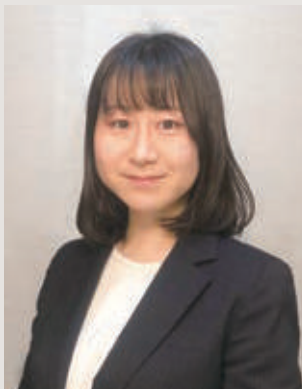
大学院生だからこそその経験と、学びがあった

学部4回生から卒業研究が始まりましたが、就活の期間も加味すると、研究できる期間は実質半年程度でした。未知のテーマに取り組むには時間が足りないと考えたのが、大学院進学を考え始めたきっかけです。進学により、3年間というまとまった期間を研究に費やせるとともに、自身の将来の選択肢も大きく増やすことができると考え、進学を決断しました。

大学院では毎日、実験・データの整理後、結果について先生へ報告し、今後の研究計画について議論しました。結果の整理、先生方との議論を繰り返す中で、日々論理的思考力が培われ、考えを言葉にして表現する力も身についたように思います。また、研究室には様々な国籍の留学生が在籍していましたので、学部生への指導やTAを通じた後輩指導とともに、留学生への研究指導も経験しました。留学生生活という限られた期間で成果を出すために、共に試行錯誤し、深く関わり合いながら研究生生活を送りました。大学院に進学したからこそできた貴重な経験であり、一生の友達もできました。その他にも、イリノイ大学との共同ポスター発表会など、英語による研究発表を複数回経験し、外国での研究に対する価値観に触れるなど、国際的感覚を養える学びがありました。

大きな強みは、専門知識と論理的思考に基づいたコミュニケーション力

私は現在、CRO(医薬品・医療機器開発業務受託機関)で勤務しています。医薬品の開発業務では病院の先生の見解などをお伺いする機会も多く、大学院で身につけた医学知識が直結して役立っています。また、医療機関の方々とのコミュニケーションにおいては、研究内容についての議論をはじめ、学会発表での質疑応答など、論理的に自身の意見を発信する機会が多い大学院生活を送った経験が生きていると感じます。大学院進学は、将来の選択肢が大きく広がるチャンスだと思います。学部だけでは関わることができない方々と出会うこともできます。自分の意思で、最後には納得して進路を選択できるよう、まずは周囲のいろいろな方の話を聞いてみることをおすすめします。



教職研究科
朱雀
キャンパス

2019年3月
専門職課程修了

長澤 香澄さん

公立小学校 教諭

かけがえのない出会い、経験、探求の時間

教職研究科は、大学院生・教員・職員が一体となっているアットホームな研究科でした。出身学部が様々なので、多様な切り口で話ができて面白かったですし、大先輩である現職教員院生の先生方と「同級生」として対等に学び、議論した経験は、今の職場の先生との関わりにも生きているように思います。教授の研究室に集まって、研究のことからプライベートなことまで、みんなでいろいろ話をしました。一人で集中したい時にはチャレで、話し合いながら進めたい時やほっと一息つきたい時には共同研究室で過ごしました。かけがえのない仲間と出会えたこと、温かく迎えてくれる場所があることが、今も心の支えになっています。

授業からも、多くの学びがありました。週1回のフィールドワークでは、いろいろな学校や施設を訪れます。「百聞は一見に如かず」と言うように、本を読んで得る知識とは異なる次元での理解がありました。また、連携協力校での長期実習(1回生で3週間、2回生で7週間)で実践したことを「教育実践探求論文」にまとめることで、漠然と考えていたことの正体が少しずつ明らかになり、新たな発見もありました。教職研究科での出会いや経験が、私の教育観や子ども観に大いに反映されたと思います。

自信をもって、教師になるために

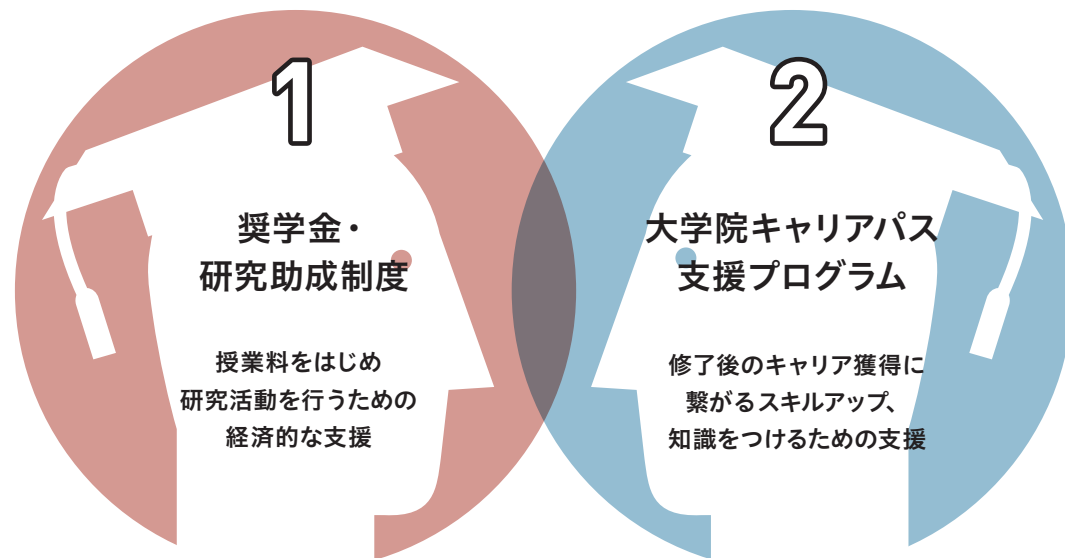
学部時代、自分に教師が務まるだろうかと不安がありました。しかし就職活動をするうち、やはり学校で働きたいという気持ちが芽生え、ならば専門性を高めて自信をもって教壇に立ちたい、との思いから教職大学院へ進学しました。学部で取得できなかった小学校の免許を取得できる点も、魅力的でした。

教師は、大学院を卒業しなくても就職できる職業です。周りは就職して働いているのに…と悩むこともあるかもしれませんが、それでも私は「進学してよかった」と心から思える密度の濃い日々を過ごし、多くの気づきや仲間との出会い、自信を得て、今教壇に立っています。教職という仕事を真剣に考える人には、ぜひ教職研究科でのかけがえのない毎日を、選択肢に入れて欲しいと思います。

立命館のキャリアパス支援について

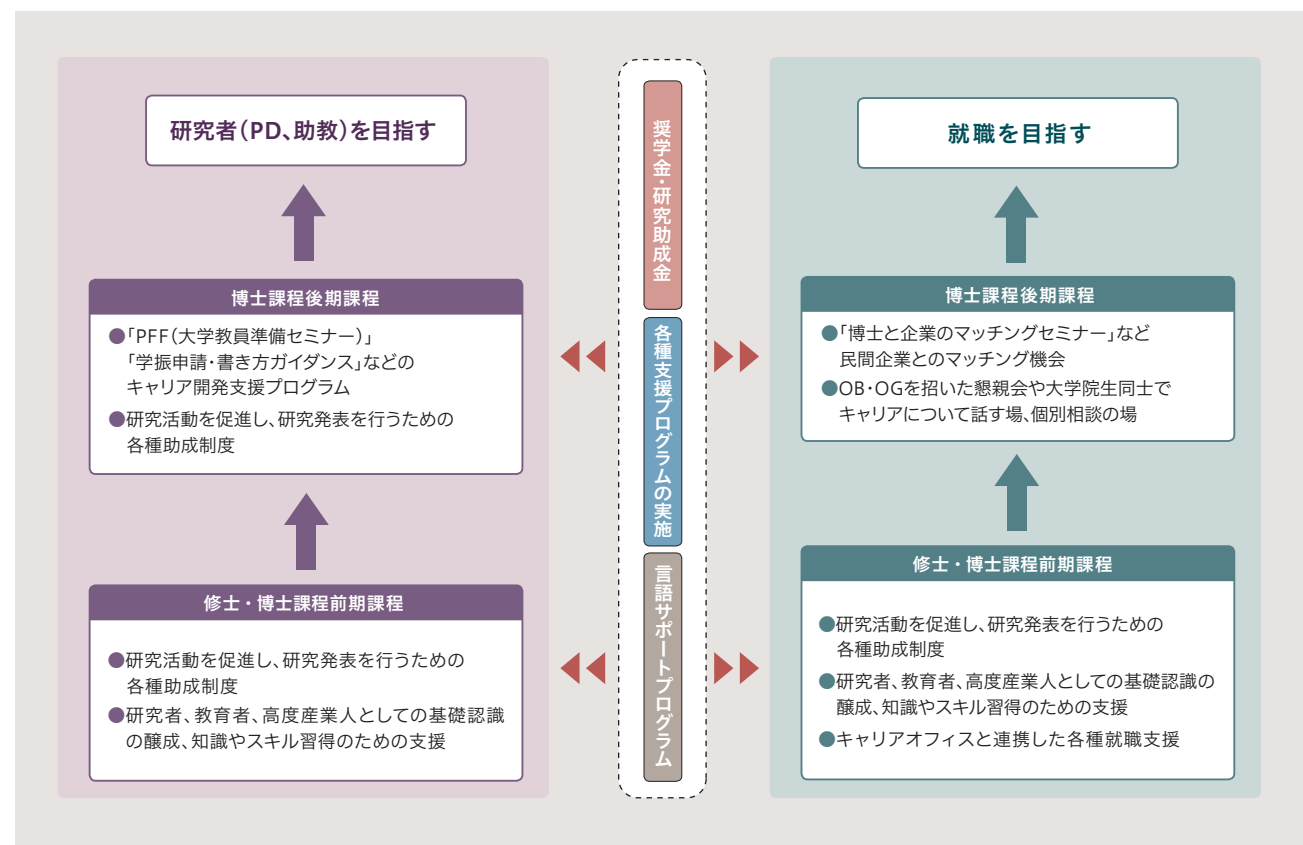
大学院キャリアパス
推進室ウェブサイト

立命館大学の大学院キャリアパス推進室は、
大学院生の学びに対して **2つの側面** から支援をしています。

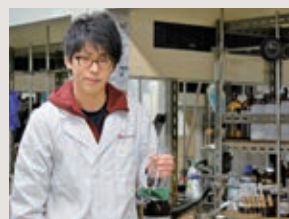


立命館大学では、博士課程後期課程院生のキャリアパス形成を支援し、
国内外で広く活躍する人材を育成することを目的として、2010年4月に博士キャリアパス推進室を設置しました。

さらに、2013年度からは博士課程後期課程だけではなく、大学院全体として
入試、教学、キャリア・奨学金支援制度の有機的連携を行いながら大学院生のキャリアパスを支援するために
「博士キャリアパス推進室」を「大学院キャリアパス推進室」に改組しました。
大学院生が活き活きと研究に取り組める環境構築、また、研究者ライフコースの視点による若手研究者の人材育成支援を行うために、
大学院生へのキャリアパス支援についてさらなる拡充を目指していきます。



キャリアパス支援制度利用者の声

立命館大学初
育志賞受賞！日本学術振興会
特別研究員

生命科学研究所
博士課程後期課程 2020年3月修了
名古屋工業大学大学院
工学研究科 助教

研究分野：
有機化学、光化学、超分子化学
松原 翔吾さん

学内セミナーの活用、早めの準備、そして自身の研究を楽しむこと
これが、採択のためのキーワードです。

日本学術振興会の特別研究員(以下、学振)に採択されることは、自身のキャリア形成においてかなり有利になります。簡単には採択されないとは聞いていましたが、チャレンジしてみようと思い、博士課程前期課程1回生の冬頃から申請書作成の準備を始めました。学振の申請書は、かなりの分量があるだけでなく、内容に一貫性をもってまとめることが大切になります。文書をまとめているうちに考え方が整理されることもあれば、新たに関心が湧き、一から書き直す羽目になることもあり、書き上げてからも何度も読み直してブラッシュアップしました。

私は将来、アカデミアでの就職を考えています。研究は、研究対象や自分自身と黙々と向きあうことが多く、なんらかの成果が出たとしても「誰かに認められる」ことが少ないものです。その中で「学振に採択をされた」ということは大きな自信となり、アカデミアへの想いをさらに後押ししてくれることになりました。

大学院キャリアパス推進室では、学振申請のための様々なサポートを行っています。これらのセミナーをうまく活用すること、そして早めに準備を始めること、そしてなにより研究を楽しむこと、それが学振採択のためのキーになると思います。

博士論文出版助成金



先端総合学術研究所
一貫制博士課程 2018年3月修了
立命館大学 衣笠総合研究機構
専門研究員

研究分野:医療史
坂井 めぐみさん

「博士論文出版助成金」を活用し、博士論文を学術図書として刊行。刊行を含む
研究成果に対して「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。

私は、2019年度より衣笠総合研究機構専門研究員として医療史研究を行っています。大学院では、これまで見落とされてきた脊髄損傷者の「治療には結びつかない医療」が、いかに形成・展開してきたのか社会情勢、医療制度、法律、患者の生活と関連づけながら、幕末期から現在にわたって検討することにより、「患者」の位置づけがどう変容したのかについて研究していました。2019年7月、大学院キャリアパス推進室が主管する「2018年度 立命館大学大学院博士論文出版助成金」を活用し、博士論文に加筆する形で、『「患者」の生成と変容：日本における脊髄損傷医療の歴史的研究』(晃洋書房)を刊行しました。

出版には高額な費用が必要でしたが、この制度のお陰で出版費用の大半を助成してもらうことができ、私にとって大きな研究業績のひとつとなり、修了後のキャリア獲得につながりました。そして、刊行を含む研究成果に対し「第14回日本科学史学会学術奨励賞」を受賞しました。これからは科学史および技術史の分野に貢献できるよう、地道に研究を続けていきたいと思っています。

2021年度
日本学術振興会
特別研究員採用

奨学金



スポーツ健康科学研究科
博士課程後期課程1回生

研究分野：
スポーツ健康科学、女性スポーツ
競技者における貧血・鉄欠乏
林 七虹さん

奨学金を活用して国際学会発表に初挑戦。
研究活動など様々な活動を通じて研究力向上に努めました。

立命館大学では各種奨学金・助成制度が充実しており、これらを上手く活用することで自分自身の学びの場を広げることができます。

大学院では、学部生に比べて、学会など国内外において研究成果を発表する機会が多くなります。私は、博士課程後期課程へ進学しましたが、国際学会への参加は研究者としての経験を積む意味でとても大切である一方、学生である私たちにとっては経済面での心配は避けられません。私自身も不安な気持ちがありましたが「学生学会奨学金」を活用して、国際学会へ積極的に参加することができました。国際学会では、海外の研究者と交流する機会に恵まれ、大きな自信となりました。

また、自分自身の学びにつながったと思う制度は「学生研究会活動支援」です。大学院生による自主的な研究会を支援してもらえる制度ですが、その中で良かったと感じるのが「報告会」があったことです。大学院キャリアパス推進室が所管する各種制度においては、「報告会」としてアウトプットする機会が設けられているものが多く、他者へ伝えるという経験を積むことで、研究者としてのスキルを磨くことができたように感じます。

■奨学金・助成制度の概要

下記は本学独自の奨学金・助成制度であり、返還義務のない奨学金・助成制度です。内容は2021年度の概要であり、2022年度以降の制度に一部修正、統合などが発生する可能性があります。最新の情報については、大学院キャリアパス推進室ウェブサイト、各制度の募集要項等を参照してください。本ウェブサイトでは、各種セミナー・プログラムについても紹介しています。

※専門職学位課程は、一部対象とならない奨学金・助成制度がありますので、詳細は募集要項をご確認ください。



大学院キャリアパス推進室ウェブサイト
(奨学金・研究助成)

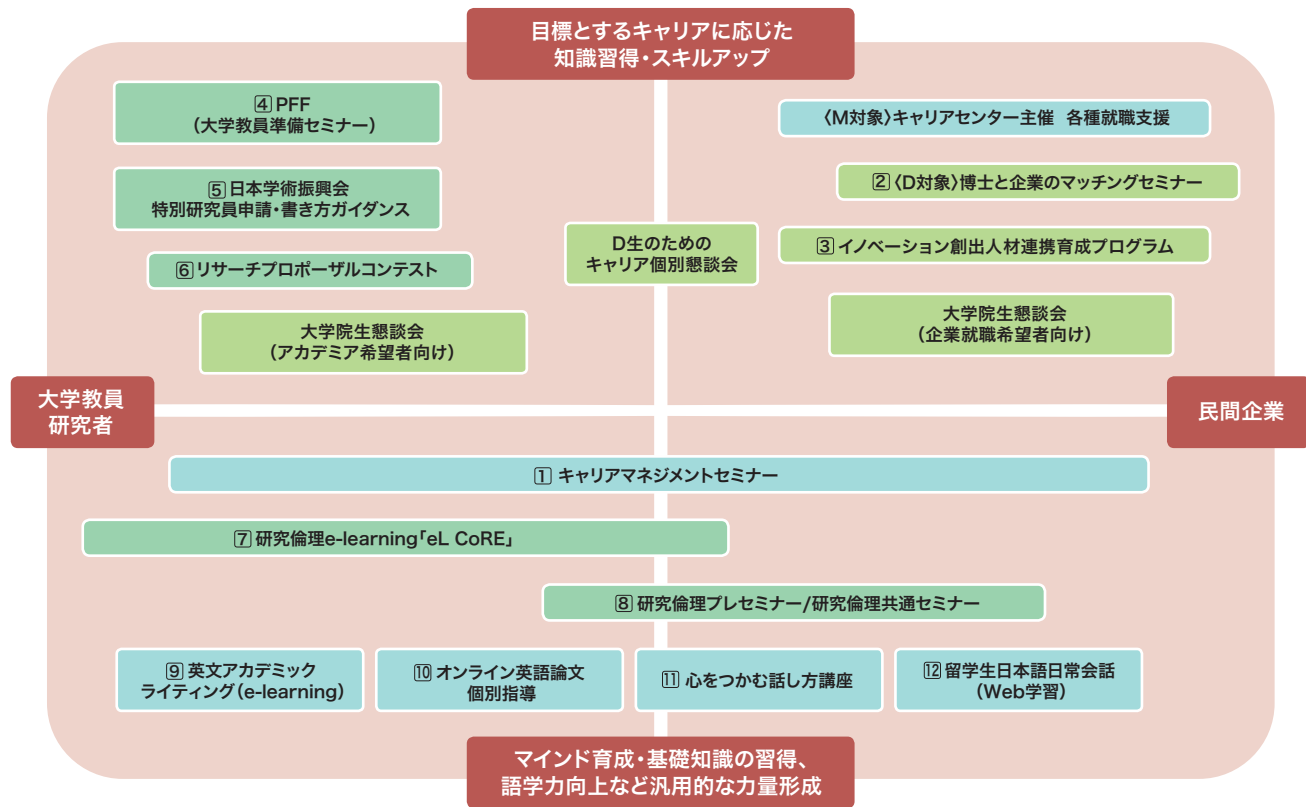
	M1	M2	D1	D2	D3
成績優秀者の入学・学修・研究を奨励	1年次対象 成績優秀者奨学金 10 ～ 60万円 (研究科ごとに異なる)	2年次対象 成績優秀者奨学金 10 ～ 60万円 (研究科ごとに異なる)	研究奨励奨学金 S 給付：年間の授業料相当額 A 給付：年間の授業料相当額 B 給付：年間の授業料の1/2相当額		
研究活動したい	研究実践活動補助金 国内研究実践：1.5 ～ 3万円 国外研究実践：2 ～ 20万円		国際的・国内研究活動促進研究費 国 内：5 ～ 10万円(研究活動期間に応じて給付) 国際的：研究助成金 10 ～ 30万円・海外渡航に要する交通費		
学会に参加したい 学会で研究成果を 発表したい	学生会奨学金 学会参加奨励(オンライン参加)：一律5千円 学会参加奨励(現地参加)：一律1万円 学会発表奨励(オンライン発表／誌上開催)：一律2万円 学会発表奨励(国内現地発表)：一律3万円 学会発表奨励(国外現地発表)：一律10万円				
研究科を越えて 研究会活動したい	学生研究会活動支援 経費支援（1研究会あたり年額 10万円上限）・施設支援				
英語論文を 投稿したい	英語論文投稿支援補助金(院生) 英語論文校正費：上限3万円 英語論文投稿費：上限5万円				
語学を学びたい TOEIC®・TOEFL® 等を受験したい	ベーススキル向上支援補助金 上限2万円 英語団体受験補助制度 学内で行うTOEFL ITP®テストとTOEIC®L&R IPテストの団体受験料を補助する制度				
海外留学したい	留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金 派遣期間中に派遣先に納付する学費または本学に納付する入学金を除く学費の1/2相当額				
国外の研究者と 共同研究したい	国外共同研究奨学金 10～80万円(地域・日数に応じて給付)				
博士論文を 出版したい	(博士学位論文を出版する際に、 その経費の一部(最大100万円)を補助) 博士論文出版助成金 (人文社系の研究科のみ)				

※TOEIC®、TOEFL®はEducational Testing Service(ETS)の登録商標です。

※TOEIC®L&R IPテストの「L&R」は、Listening & Readingの短縮形です。

■キャリアパス支援プログラム

研究活動を通じて身につけた知識や能力を多様な分野で活かせるよう、キャリアパス形成に必要な基礎知識やスキルの習得、研究科を越えたネットワーク構築のための多様な企画を実施しています。



① キャリアマネジメントセミナー

大学や企業の第一線で活躍されている方々をお招きして実施する「キャリア創造のための“実践力強化”を図る」セミナーです。企業をどのように選ぶのか、リーダーシップはなぜ必要か、未知なる課題にどのように立ち向かうか、といったテーマから、企画書の書き方など実践的な内容まで、多岐に富んでいます。全9回のうち、自身の興味関心に合わせて受講するセミナーを選択できます。もちろん全てに参加も歓迎です。

〈2021年度実施プログラム(予定)〉

テーマ(内容)		テーマ(内容)	
第1回	企業の種類と分析	第6回	大学院生のためのエントリーシートの書き方
第2回	基礎研究から新事業への道		
第3回	レジリエンストレーニング	第7回	イノベーションとは
第4回	企画書の書き方	第8回	発想法
第5回	リーダーシップとは	第9回	アントレプレナーシップ

④ PFF(大学教員準備セミナー)

大学教員として講義を行うにあたって必要となる基本的なスキルを習得するプログラム。教育開発推進機構の実践的FDプログラムと連携して実施します。

⑤ 日本学術振興会特別研究員申請・書き方ガイド

日本学術振興会特別研究員の制度概要や募集スケジュール、申請書作成のポイントについて学びます。

⑥ リサーチプロポーザルコンテスト

自身の研究のアイデアを、いかに魅力的に研究計画書上で表現できるかを競うコンテストです。申請書は、日本学術振興会特別研究員の申請書式とほぼ同じ項目となっていますので、日本学術振興会特別研究員に申請する前のトレーニングの場としても位置付けています。

⑦ 研究倫理e-learning「eL CoRE」

時間と場所を選ばずに研究倫理を学修することができる教材です。IDとパスワードは下記より各自で申請してください。
<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

⑧ 研究倫理プレセミナー/研究倫理共通セミナー

研究を進めるにあたって知っておかなければならない行動規範、成果発表方法など研究倫理に関する基礎知識の習得を目指します。

⑨ 英文アカデミックライティング(e-learning)

研究者向けの英文アカデミックライティング(Nature master classes)を利用し、科学論文の書き方や査読方法等をe-learningで学ぶことができます。
http://www.ritsumeit.ac.jp/research/member/news/sonota/file/nature_masterclasses03.pdf

② 博士と企業のマッチングセミナー

主に、企業への就職をめざす博士後期課程大学院生を対象に、学生と企業が直接交流する中で、就職への道筋をつけることを目的としたセミナーです。

〈2020年度参加学生の声〉

・企業が求める人材像など、直接お話を聞いて分かったことがたくさんあった。

③ イノベーション創出人材連携育成プログラム

北海道大学を代表機関として、東北大学、名古屋大学とともに平成26(2014)年度にスタートした事業で、本学も2019年度より参加しています(現在12大学が加盟)。このプログラムは、企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベースなどを通じて、民間企業や研究機関等、アカデミア以外で博士人材が活躍できる場を見出すことを目的としています。

⑩ オンライン英語論文個別指導

英語論文やレポート等について、文法や語彙の弱点、自身での校正方法等に関してオンラインで個別指導を受けることができます。

⑪ 心をつかむ話し方講座

研究内容を、専門外の方にわかりやすく話すにはどうしたらいいのでしょうか。自分の魅力をうまく伝えることができますか。誰に何を伝えたいのか。例を出して説明するなど、心に響く話し方のスキルやわかりやすく伝えるコツを学びます。

⑫ 留学生日本語日常会話(Web学習)

英語基準留学生を対象に、日本での暮らしや生活を支えるために必要な日本語能力の習得を目指します。

大学院生の進路・就職

大学院修了後のキャリアは、大学教員をはじめとする研究者だけでなく、民間企業を中心に様々な業界へと広がっています。

CHECK IT

◇大学院修了生の進路実現に向けて

本学では、大学院生の皆さんの希望する進路・就職の実現に向けた総合的な支援を行っています。研究活動と修了後の進路を並行して考えるために必須のガイダンスでは、就職活動の流れや、企業が大学院生に期待することをはじめ、キャリアセンターの支援内容などをお伝えします。

また、インターンシップや就職活動に向けた自己理解系・企業理解系の各種選考対策も行っています。他にも、留学生に特化したガイダンスや各種支援企画のほか、公務員を目指す方に向けた支援企画も実施しています。

■大学院生就職決定率 **98.1%**（2019年度 修士・博士課程前期課程修了者実績）

文系	全体	96.7%	理系	全体	98.6%	テクノロジー・マネジメント研究科（文理融合）	全体	98.4%
	男子	96.7%		男子	98.5%		男子	100.0%
	女子	96.8%		女子	100.0%		女子	95.2%

◇進路に応じた支援を受けることができます

※下記は2021年度の内容です。

個別相談 （キャリアセンター）	PFF （大学教員準備セミナー）	公務員、資格取得	博士と企業の マッチングセミナー
修士・博士課程前期課程 大学院生の民間就職や 公務員志望の方に向けて、 就職活動や公務員試験に関 する様々な相談に応じて います。	大学で授業を行うにあたって 必要となる基礎的なスキル を習得するプログラムです。 教育開発推進機構の実践 的FDプログラムと連携して 実施します。	エクステンションセンター では、公務員試験や資格取 得に向けた各種講座の開 講や学生の学習支援を 行っています。 ＊キャリアセンター内にあります。	博士課程後期課程大学院生 と企業が直接交流する中で、 就職への道筋をつけることを 目的としたセミナー。自身の 研究力や持てる力をアピール するチャンスです。

修了生の主な就職先

法学研究科

国内外の大学教員、民間企業や金融機関の法務部や財務部、公務員、司法書士・税理士・公認会計士・弁理士など、法学・政治学に関する高度な専門知識を必須とする職業分野において活躍しています。

進路・就職先/研究職：私立大学・国公立大学、海外大学など 民間：メーカー、金融機関の法務部門や税理士法人など 公務員：国家公務員、国税専門官、法務省専門職員など

社会学研究科

社会的に要請される実践的課題にこたえる研究者や高度専門職業人として幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/社会福祉協議会・地方公務員・教員 民間：マスコミ・サービス・流通商事など 研究職：私立大学・国公立大学など

国際関係研究科

企業の総合職（主に国際部門）、マスコミ各社（新聞、放送、出版）、シンクタンク、国際機関職員、各国政府系機関へ修了者を輩出しています。

進路・就職先/国家公務員・国際協力機構・日本貿易振興機構など 民間：サービス・製造・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

文学研究科

中学・高等学校教員、高度専門職職員、公務員、民間企業社員など、各専修の独自性を活かしたさまざまな職に就き活躍しています。

進路・就職先/教員・地方公務員など 民間：サービス・流通商事・マスコミなど 研究職：私立大学・国公立大学など

映像研究科

映像に関わる高い専門性を修得し、広い視野から自らの課題を捉え、多様化する映像関連分野に柔軟に取り組んでいくことの出来る力を身につけます。

進路・就職先/民間：マスコミ、サービスなど
進路・就職先詳細は29ページに記載しています。

言語教育情報研究科

言語に関わる専門的知識を活かして、教育関連を中心に幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/国内外の大学教員、中等教育機関の英語教員、日本語教員など。国際交流基金、国際協力機構などの団体。サービス・製造・流通等の民間企業など。

先端総合学術研究科

研究者養成の研究科。博士号を取得、研究者として、あるいは現役研究者がさらにキャリアアップし、様々なフィールドで活躍しています。

進路・就職先/研究職：大学教員（テニュア教員、任期制教員）、大学・研究機関の研究員、各種学校教員、公務員・団体職員、その他

経済学研究科

大学教員等の研究者の道を目指す大学院生のほか、企業や公務員、税理士事務所などに就職する大学院生も増えています。

進路・就職先/地方公務員など 民間：税理士法人・金融・サービスなど

スポーツ健康科学研究科

「スポーツ」と「健康」に関する高度な専門性を活かして、幅広いフィールドで活躍しています。

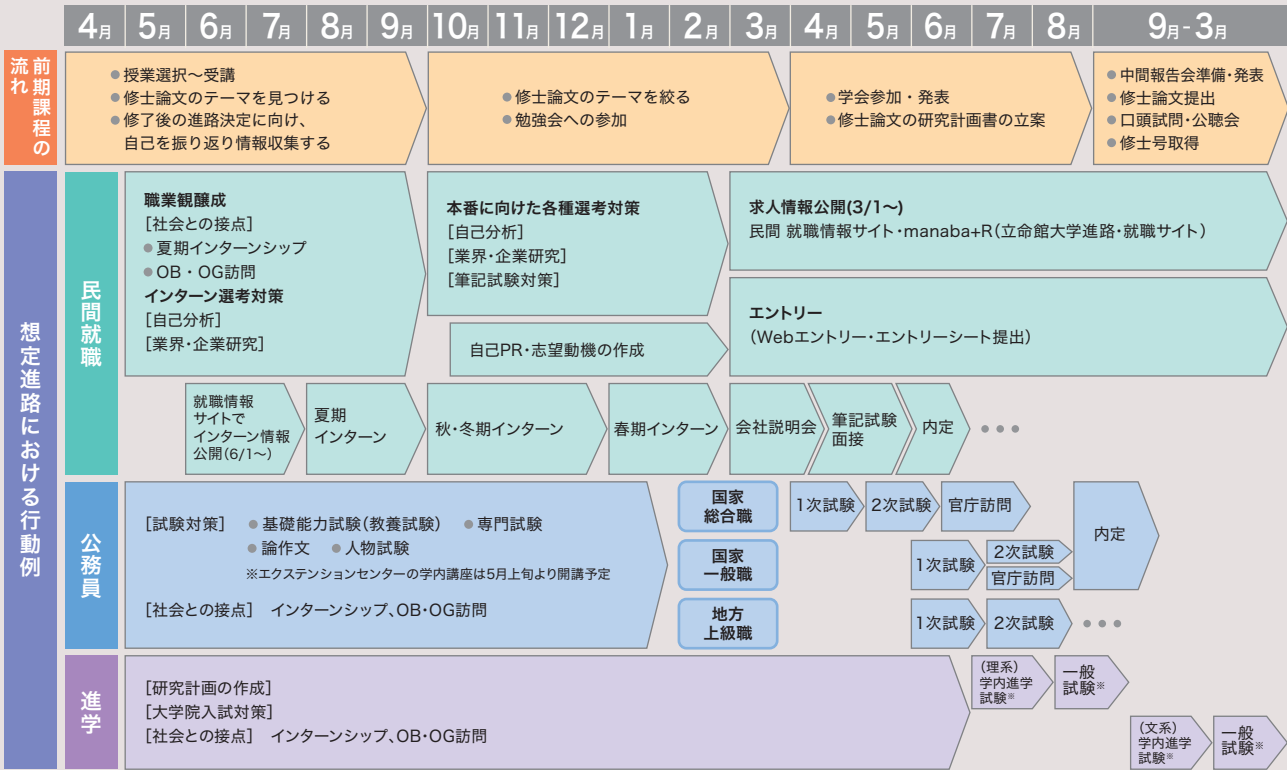
進路・就職先/国立の研究機関、スポーツ用品、食品メーカー、教員など。
進路・就職実績は33ページに記載しています。

理工学研究科

高度な専門知識・技術を活かして、多くの修了生が「研究・設計・開発職」に従事しています。

進路・就職先/民間：製造・サービス・流通商事など
進路・就職実績は35ページに記載しています。

◇修士・博士課程前期課程における進路別スケジュール（例）



※入試時期は、研究科によって異なります

情報理工学研究科

社会を支えるIT技術・サービスを開発する役割が期待されており、幅広い業種で技術専門職や研究開発職として高度な人材が求められています。

進路・就職先/IT関連企業をはじめ、情報通信、Webサービス、総合電機、電子機器、自動車関連、医療機器、流通、金融、ゲーム、公務など

生命科学研究科

化学、エネルギー、環境、食料、情報、医療、健康分野といった幅広い分野で活躍しています。

進路・就職先/民間：製造・サービス・流通商事など

進路・就職実績は37ページに記載しています。

薬学研究科

高度な知識や技能を持った薬剤師として医療の現場や行政機関で活躍する人材や、薬科学の専門知識および研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成します。

進路・就職先/病院・大学病院・製薬企業・公務員・薬局・大学など

経営学研究科

大学教員・シンクタンクなどの研究者や、公認会計士などで活躍しています。

進路・就職先/民間：監査法人・税理士法人・サービス・流通商事・製造など

政策科学研究科

行政や研究機関をはじめ、幅広い領域の専門性を活かし、多様な分野で活躍しています。

進路・就職先/国家公務員・地方公務員・教員 民間：サービス・金融
研究職：私立大学・国公立大学、海外大学など

人間科学研究科

各領域のスペシャリストを養成しています。

進路・就職先/臨床心理学領域：臨床心理士、産業・スクールカウンセラーなど 心理学領域：司法、警察官、教育など
実践人間科学領域：看護師、保健師、高齢者介護、障がい者援助など

テクノロジー・マネジメント研究科

サービス・製造ほか職種を問わず、新規事業の立ち上げ、新技術の創造、技術を利用した収益向上など企業の持続的発展に欠かせない分野で活躍しています。

進路・就職先/新製品・サービス企画、工程管理、技術営業、一般営業コンサルティング他

経営管理研究科

社会人のキャリアアップが多いことが特徴です。就業経験の無い学生は、企業だけでなく多様な分野でリーダーとして活躍しています。

進路・就職先/製造・コンサルティング・サービス・監査法人・金融など

法務研究科

司法試験合格を経て法曹（弁護士・裁判官・検察官）を目指します。それ以外に民間企業（法務部門）や公務員でも活躍の場があります。

進路・就職先/弁護士・裁判官・検察官・民間企業（法務部門）・裁判所事務官・国家公務員・地方公務員

教職研究科

学校現場の多様な課題に高度な実践力で対応できる資質能力を獲得し、公立、私立の学校で教員として活躍しています。

進路・就職先/小学校・中学校・高等学校教員

※食マネジメント研究科は2021年4月開設のため、想定される進路を34ページに記載しています。

データで見る立命館の研究力

■民間企業からの受託研究実施件数

文部科学省では毎年、「大学等における産学連携等実施状況について」を発表しており、立命館大学は「民間企業からの受託研究実施件数」においてここ数年、常に上位に位置しています。

この発表は、文部科学省が産学連携等施策の企画・立案に反映させることを目的として毎年実施している「大学等における産学連携等の実施状況調査」に基づくもので、全国の大学等（2020年度においては1,068機関（国公私立大学（短期大学含む）、国公私立高等専門学校、大学共同利用機関））が対象となっています。

1995年に全国の大学に先駆けて産学連携の窓口「リエゾンオフィス」を設置した本大学では、研究成果による社会貢献として、立命館大学研究高度化中期計画*の策定元年となる2006年度から一貫して産学連携を重要な柱として掲げており、特に京都府・滋賀県・大阪府を中心とした地元企業との連携を重視しています。2019年度の同実施状況の発表では、「同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数（地方別）」において、近畿地方の私立大学としては1位となっています。

立命館大学研究高度化中期計画の各施策の推進などにより研究支援制度の充実を図り、外部資金獲得につながる成果の創出や研究拠点形成に取り組んできた結果、とりわけ民間企業からの受託研究実施件数に関しては、過年度からの高い実績につながっていると言えます。

*研究を高いレベルで推進するために本大学が2006年度より独自に策定している5ヵ年計画。

受託研究とは：企業等からの研究テーマに基づき本大学の研究者が研究を実施し、成果を委託者に報告する制度。

共同研究とは：企業等と本大学の研究者が共通の研究テーマを持ち、研究業務を分担し、あるいは本大学に企業等の研究員を受入れて実施する制度。

■民間企業からの受託研究実施件数<全国順位と過年度の実績>（2019年度）

機関名	件数	区分*
1位 近畿大学	323	私
2位 立命館大学	259	私
3位 早稲田大学	212	私
4位 慶應義塾大学	205	私
5位 日本大学	190	私
6位 山形大学	186	国
7位 大阪大学	164	国
7位 拓殖大学	164	私
9位 東京大学	154	国
10位 順天堂大学	129	私

■同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数、受入額（地方別）（2019年度 近畿地方）

機関名	件数	受入額（千円）	所在地	区分*
1位 大阪大学	406	2,791,232	（大阪府）	国
2位 京都大学	191	722,774	（京都府）	国
3位 立命館大学	176	177,249	（京都府）	私
4位 近畿大学	168	131,293	（大阪府）	私
5位 神戸大学	155	282,690	（兵庫県）	国

*区分 私：私立大学、公：公立大学、国：国立大学

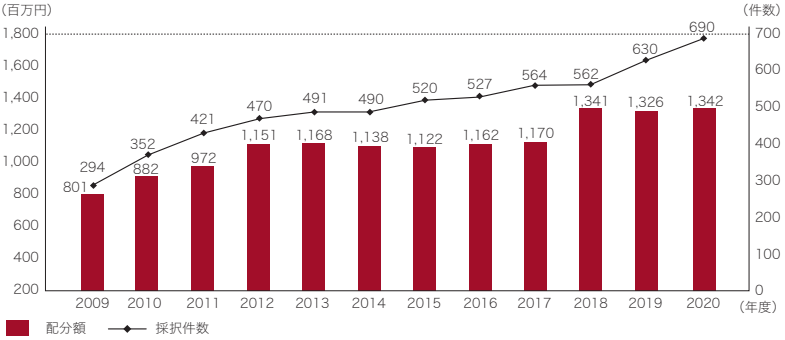
※文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」より作成

■科学研究費助成事業 ―科研費―

立命館大学は、2020年12月に発表された「令和2年度科学研究費助成事業－科研費－の配分」において配分額、採択件数ともに私大3位（西日本私大1位）となりました。全国では、配分額は23位、採択件数は21位となっています。また、6年連続11億円台であった配分額も3年連続13億円を突破しています。審査区分別（中区分別採択件数上位10機関 ※過去3年間の新規採択の累計数）では、10区分が全国10位内にランクインし「社会学およびその関連分野」が最高位の全国2位、「地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野」「社会学およびその関連分野」「人間情報学およびその関連分野」、「環境保全対策およびその関連分野」で私大1位となり、多様な分野で本大学の強みを活かした独創的・先駆的な研究を進めています。また、採択件数に占める女性研究者のシェア（女性比率）も増加して25.4％となり、女性研究者の採択実績の伸びが顕著であることも本大学の特徴です。

科学研究費助成事業（科研費）とは：科学研究費助成事業とは、文部科学省の競争的研究資金のひとつであり、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を助成する制度で、年間予算は2,000億円を超え、我が国の科学技術の発展には欠かせない重要な研究費です。

〈本学の配分額・採択件数の推移〉



研究・産学官連携についての詳細は

[立命館](#) [研究](#)

[検 索](#)

column

科研費受給者の声

許 智香

立命館大学衣笠総合研究機構
助教



近代日本は、歴史上前例がないほど積極的に西洋文献を翻訳しました。それは単なる言葉の変換に留まらず、日本における学びのあり方を完全に転換して、新たな学知（近代以降の学問の制度）の形成に深く関連しました。私は、この近代日本における学知と翻訳の関係について研究しています。

私の研究テーマを具体化させてくれたのは、本大学大学院の存在です。本大学では、博士課程後期課程に進学するすべての大学院生に、日本学術振興会や科研費など、外部資金の全体像を分かりやすく提示しています。またその重要性を教え、申請作業をきめ細かく支援します。申請には、漠然とした問題意識を学術的重要性の高い研究テーマへと具体化し、研究計画を資料にまとめる作業が必要になりますが、採択されれば研究資金を得られると同時に、所属する組織への貢献にもなります。この過程は申請者を、『「研究」を「仕事」にする』とはどういうことか、その現実に向き合わせます。学生のうちからこのような機会や支援を得られることは、研究者を目指す者にとって大変有意義であると思います。

topics

立命館大学の研究活動を
より詳しく知りたい方は・・・



研究活動報 RADIANT



立命館大学における研究活動を広く紹介しています。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/radiant/>

Twitter

立命館大学 _ 研究部
@Rits_ResearchPR



立命館大学研究部公式Twitter。立命館の「研究」をもっと身近に感じてもらえるよう、多様な研究者の研究活動やイベントを紹介しています。

研究機構・研究所・研究センター

立命館大学では、研究機構による最先端の取り組みが展開されています。その成果は社会貢献のために活用されるとともに、大学院の研究・教育に還元され、高度な研究につながっています。人文・社会・自然科学各領域の研究を推進するために多彩な研究機構を設置し、基礎から応用まで幅広い活動を展開しています。また、国や地方公共団体、産業界との研究交流にも積極的に取り組み、成果を社会に還元しています。

※以下は、2021年4月1日現在の研究機構・研究所・研究センター

■立命館グローバル・イノベーション研究機構[R-GIRO]

R-GIROは、学長直轄の研究組織で、「政策的重点課題に特化した研究拠点の形成」および「次世代を担う若手研究者の育成の強化」を目的に2008年に設立されました。自然共生型社会の実現に向け、自然科学分野と人文文学・社会科学分野との融合を図り、学際的研究活動を促進することで、価値ある研究成果を創出し、その成果の積極的発信により、次世代社会への貢献を果たすことを目的としています。

■立命館アジア・日本研究機構

立命館アジア・日本研究機構は学長直轄の研究組織で、「『アジア・日本研究』をリードする研究者の育成および未来のアジア・日本についての共通ビジョンの形成」をミッションとし、「アジアの時代」に資する立命館らしいコンセプトと戦略性を兼ね備えた研究を推進しています。国内外の研究機関と連携し、多様な研究ネットワークの中核としての機能を発揮しながらグローバルな視点でのアジア・日本研究を推進していくことを目的としています。直下のアジア・日本研究所では、「共生」「共創」「和解」をキーワードとした総合的実践研究を重点的な取り組みとし、プロジェクトごとに研究活動と成果発信を進めています。

■アジア・日本研究所

■衣笠総合研究機構

衣笠総合研究機構は1998年に設置され、研究所・研究センターをマネジメントする研究機構として研究活動を支えています。「自主」「民主」「公開」「平和利用」といった4つの原則のもと、人類の福祉と社会の進歩に貢献し、社会の要請に応えることを目的としています。

■人文科学研究所 ■国際地域研究所 ■国際言語文化研究所 ■人間科学研究所
■アート・リサーチセンター ■歴史都市防災研究所 ■白川静記念東洋文字文化研究所 ■生存学研究所
■研究センター コリア研究センター／間文化現象学研究センター／ゲーム研究センター／環太平洋文明研究センター／加藤周一現代思想研究センター／金融ジェロントロジー／金融・法教育研究センター／地域健康社会学研究センター／クリエイティブ・メディア研究センター／中東・イスラーム研究センター／東アジア平和協力研究センター

■BKC 社系研究機構

BKC社系研究機構は1つの研究所と2つのセンターで構成されています。社会的ネットワーク、国際性、公開性および学際性を研究の基本的視点に置いた社会科学および学際領域の基礎的および応用的研究を行なうことで学術文化の発展と人類の福祉に貢献することを目的としています。

■社会システム研究所 ■研究センター ファイナンス研究センター／食総合研究センター

■総合科学技術研究機構

総合科学技術研究機構は、科学技術の発展と地域社会に貢献するために1994年に「総合理工学研究機構」として設置されました（2012年度より、現名称に改称）。産学官の共同研究の推進を通して、科学技術の発展と地域社会に貢献することを目的としています。

■理工学研究所 ■SRセンター ■VLSIセンター
■研究センター 防災フロンティア研究センター／バイオメディカルエンジニアリング研究センター／琵琶湖・環境イノベーション研究センター／創薬科学研究センター／スポーツ健康科学研究センター／ロボティクス研究センター／エネルギーイノベーション材料研究センター／古気候学研究センター／先端ICTメディカル・ヘルスケア研究センター／システム視覚科学研究センター／生物資源研究センター／環境テクノロジー・マネジメント研究センター／知能化社会デザイン研究センター／IoTセキュリティ研究センター

■OIC 総合研究機構

大阪いばらきキャンパス（OIC）の教学コンセプト「アジアのゲートウェイ」「地域・社会連携」「都市共創」をふまえ、グローバルに通用する人材の育成、新たなイノベーションの創出、地域コミュニティの中核的存在としてその機能を果たす研究機構を目指し、活動することを目的としています。

■地域情報研究所
■研究センター 医療介護経営研究センター／デザイン科学研究センター／グローバルMOT研究センター／稲盛経営哲学研究センター／サステイナビリティ学研究センター／認知科学研究センター／ものづくり質的研究センター

国際交流・留学生サポート

■外国人留学生(大学院)国・地域別一覧

国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数	国・地域	人数
中国	656	パキスタン・イスラム	5	アイルランド	1	バヌアツ	1
インドネシア	56	フィリピン	5	アルゼンチン	1	パラオ	1
韓国	23	ウズベキスタン	4	カナダ	1	フランス	1
ベトナム	23	カンボジア	4	ギニア	1	ブルガリア	1
台湾	20	アフガニスタン・イスラム	3	コロンビア	1	ホンジュラス	1
インド	14	ハンガリー	3	ザンビア	1	マカオ	1
バングラデシュ	14	香港	3	シンガポール	1	マラウイ	1
タイ	13	イタリア	2	スペイン	1	マルタ	1
ミャンマー	11	ウクライナ	2	スロベニア	1	南アフリカ	1
キルギス	10	サウジアラビア	2	セネガル	1	モーリシャス	1
アメリカ	8	シリア・アラブ	2	ソマリア	1	モンゴル	1
ネパール	7	チェコ	2	タジキスタン	1	ロシア	1
ラオス	6	トルコ	2	チュニジア	1		
エジプト・アラブ	5	ブータン	2	チリ	1		
ナイジェリア	5	マレーシア	2	ドイツ	1	総計	941

外国人留学生とは、在留資格「留学」を取得できるもので外国籍を持つものを言う。 2020年5月1日現在



■世界各国の大学院生と学ぶ

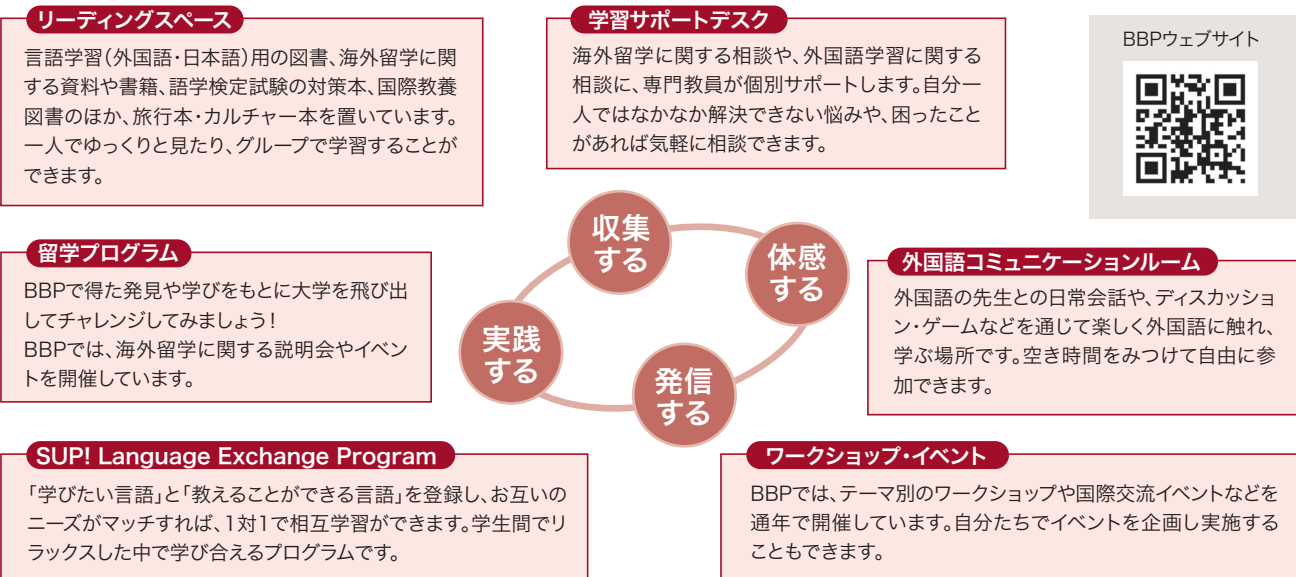
約**60**の
国・地域から集まる留学生

立命館大学の特徴は「多様性」という言葉に集約されます。立命館大学には世界の多様な国・地域から大学院生が集まり、日々勉学や研究に励んでいます。異なる文化や価値観の人とともに学び、グローバル人材に必要な素養をさらに磨くことのできる環境があります。

■Beyond Borders Plaza (BBP)

2018年4月、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパスにBeyond Borders Plaza (BBP)を開設しました。BBPは、国境の壁、文化の壁、言葉の壁、価値観の壁など、様々なBorderを超えてつながりを生み出し、共に学ぶ、国際交流や言語学習をコンセプトにした空間です。様々な言語学習用図書や、国際教養図書、雑誌などを通じて、楽しみながらグローバルな素養を高めたり、様々な国際交流イベントにも参加することができます。(2020年度は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催)

BBPでは何ができるの？



留学生サポート

■授業料減免制度

- 本学独自の減免制度です。
- 内容は2021年度の概要であり、2022年度に内容が変更となる場合もあります。最新の情報や詳細は本学ウェブサイト、募集要項等を参照してください。

対象:外国人留学生

種別	減免率	減免期間	対象者
外国人留学生授業料減免(院生Ⅰ種)	授業料の100%	標準修業年限※1	在留資格が「留学」かつ私費外国人留学生であること。対象者は入学試験にて決定
外国人留学生授業料減免(院生Ⅱ種)	授業料の20%	1年間※2	在留資格が「留学」かつ正規課程の私費外国人留学生である場合は 全員対象 。各自で入学後に申請が必要

※1 一貫制博士課程の1年次入学については4学期間、3年次入学については6学期間を上限とします。
※2 毎年の申請により、標準修業年限を上限として減免を受けることができます(全員対象)。

■留学生支援コーディネーター

国際教育センターに常駐し、留学生からの学生生活の様々な相談に対応します。留学生支援コーディネーターは、まず留学生の相談内容を把握し、必要に応じて学内外の適切な機関と連携していきます。

- 【相談事例】
- ・授業がわからない、単位がとれない【**正課に関わること**】
 - ・慣れない日本での生活に困りごとがある
 - ・友達ができない、人間関係がうまくいかない、体調が優れない、時間管理がうまくいかないなど【**人間関係、生活や健康に関わること**】
 - ・課外活動に参加したい、課外活動やアルバイトとの両立について【**課外に関わること**】
 - ・事件や事故、トラブルについて【**緊急性のあること**】
 - ・不安や悩みを誰に相談したらよいかわからないなど

■進路・就職

外国人留学生のみなさんが、もし卒業後、日本の企業で働くことを視野に入れている場合、大学院1回生の時から進路・就職について考えていく必要があります。日本の就職活動システムは独特で、日本の企業に就職した先輩たちは、在学中の早から大学から提供している進路・就職支援企画を有意義に活用しています。キャリアセンターでは、日本での就職を希望する留学生のために充実したサポートを提供していますので、安心して進路選択や就職活動に取り組むことができます。

●立命館大学キャリアセンターの留学生向け支援

日本での就職を希望する留学生の方を対象に日本就職ガイダンスや学内での企業説明会・選考会、留学生の先輩による就職相談会、エントリーシートの書き方講座等、年間を通じて様々な企画を実施しています。

詳細は [こちら](http://www.ritsumeai.ac.jp/career/) ▶ 立命館大学キャリアセンターウェブサイト <http://www.ritsumeai.ac.jp/career/>

・留学生担当スタッフへの相談

各キャンパスのキャリアセンターには留学生担当のスタッフがあり、いつでも相談を受け付けています。

■よくある質問

- Q.日本語または英語の力はどのぐらい必要ですか
- A.希望する研究科、入試方式によって異なりますが、希望する指導言語で大学院の授業を理解できる程度の力は必要です。詳しい条件は、各研究科の入学試験要項で確認できます。

●日本企業就職先例

(株)カプコン、ソニー(株)、ソフトバンク(株)、東映(株)、日産自動車(株)、日本電気(株)(NEC)、日本電信電話(株)(NTT)、(株)日立製作所、本田技研工業(株)、ヤフー(株)



「日本就職を希望する留学生のためのES作成講座」

Q.日本での受験が必ず必要ですか？

A.研究科や入学試験方式によっては、書類選考のみで可否を決定するなど、試験のための来日が必要ない場合があります。詳しい選考方法は入学試験要項で確認できます。





法学研究科
高橋 直人 教授

歴史的・国際的な視点から現在の日本を見つめる

近世・近代のドイツの刑法学がどのように発展し、明治時代以降の日本にどのように継受されたのかを研究しています。たとえば「近代刑法学の父」フォイエルバッハの刑法理論の再検討や、明治期の法律家のドイツ留学および現地での博士学位取得について実態の解明を進めています。今日の日本の刑法を支える基本的な考え方は、とりわけドイツからの強い影響のもとで形成されました。この点からいえば、ドイツの刑法学を歴史的に理解していくことは、日本の刑法学をより良く理解し、現代の法的問題をいっそう幅広い視点から解決するうえで、重要な手がかりにつながります。

底の知れない知の探究がもたらす、研究の「面白さ」

かつてヴィルヘルム・フォン・フンボルトは、大学は「常にいまだ完全には解明されていない問題として学問を取り扱い、それゆえ常に研究のうちにとどまる」と述べました。これまで明らかでなかったことが、次第に見えてくる。そうかと思えば、新たな課題がまた現れてくる。底の知れない知の探究は、研究の「面白さ」の核心をなすものです。その「面白さ」に独りでめり込むことも時にはあるでしょう。しかし、それ以上に、他の院生や研究者と学び合うことにも積極的に取り組んでください。そこでの経験は人間的な面も含めて自身の成長の糧となり、そこでの人間関係も将来にわたって支えになることがあります。

また大学院では、指導教員や他の研究科教員が、各自の得意分野を活かして院生の研究を支援します。それぞれの教員の高度な「専門性」、「専門家」としての姿（真の姿？）をいっそう実感できることも大学院の研究指導の魅力です。修士論文や博士論文等の「作品」を作ることを通じて、大学院生は、課題を見極め、必要な情報を収集・分析し、論理的に主張し（文章化し）、なおかつその一連の流れを計画的に実施できる力を長時間かけて実践的に磨き上げていきます。この力は汎用性が高く、社会の様々な場面で活用・応用できるものです。



理工学研究科
鷹羽 浄嗣 教授

新たな社会で求められる「大学院レベル」の人材

近年注目を集めているドローン、自動運転やスマートグリッドなどは、様々な要素技術が一体化した複合的なシステムです。このようなシステムを構築・運用するためには、各分野の技術をつなぐ分野横断的なシステム思考が不可欠です。私の専門である制御工学は、システム思考を用いて種々のシステムに共通する動作原理を明らかにし、それに基づいて安全かつ効率的にシステムを運用するための方策を提供する科学技術です。

日本はいま、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会「Society 5.0」を世界に先駆けて実現していくことを目指しています。この「Society 5.0」を先導する人材の育成には、大学院レベルまでの教育が必要と言われていいます。理工系分野では、大学研究者だけでなく、民間企業の研究職・技術開発職でも修士号を取得していることが一般的ですが、そういったことがより一層求められる時代になっているのです。

大学院での探究の時間が、その後の人生を変える

社会に役立つ新しい技術を生み出すには、自身の分野における専門性だけでなく、不断の問題意識と分野の垣根を越えた幅広い知識が必要です。大学院では、研究室ゼミでの徹底した議論を通じて問題発見力・問題解決力を養えることに加え、学会参加や共同研究を通じて分野横断的な幅広い見識を得ることもできます。大学院で培われる知識やスキルは、これからの社会を変革する原動力になります。

一つの物事を突き詰めて探究することができる時間は、長い人生の中でほんのわずかしかなかったかもしれませんが、そこで身に付けた考え方やスキルは、その後自身がどのような仕事を成し遂げるかということに大きく影響します。是非、大学院に進学し、そのような時間を大切にしたいと思います。

立命館大学大学院
研究科紹介

	法学研究科	25
	社会学研究科	26
	国際関係研究科	27
	文学研究科	28
	映像研究科	29
	言語教育情報研究科	30
	先端総合学術研究科 [5年一貫制博士課程]	31
	経済学研究科	32
	スポーツ健康科学研究科	33
	食マネジメント研究科	34
	理工学研究科	35
	情報理工学研究科	36
	生命科学研究科	37
	薬学研究科	38
	経営学研究科	39
	政策科学研究科	40
	人間科学研究科	41
	テクノロジー・マネジメント研究科	42
	経営管理研究科[ビジネススクール]	43
	法務研究科[法科大学院]	44
	教職研究科[教職大学院]	45

2021年度より新カリキュラムをスタート

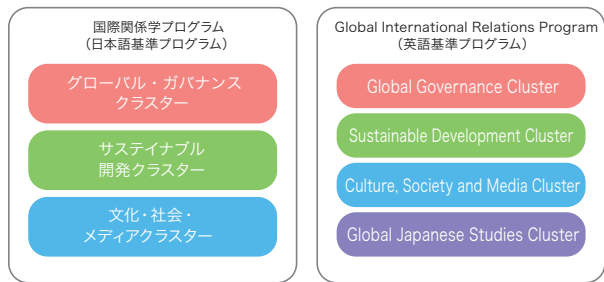
本研究科の博士課程前期課程は、日本語と英語という学修言語で分かれる2つのプログラムで構成されています。

本研究科の特徴の一つは、ディシプリンに関して、緩やかな研究領域(科目群)を示す役割として、クラスターという概念を用いていることにあります。各クラスターには特徴があります。「サステナブル開発クラスター/Sustainable Development Cluster」は、先進国、途上国における持続可能な繁栄を追求するために、経済理論、経済学というディシプリンと、政策評価や立案に関わる実践科目をバランスよく学びます。「グローバル・ガバナンスクラスター/Global Governance Cluster」は、平和と民主主義に関する様々な問題を、グローバルな視点とローカルな視点を重視しつつ、理論と実践を学びます。「文化・社会・メディアクラスター/Culture, Society and Media Cluster」は、グローバル化という文脈に即しながら、文化理論と社会理論の基礎を学び、メディア・文化研究の主要なアプローチを学びます。「Global Japanese Studies Cluster」は、英語で日本について研究できるという特徴を最大限に生かし、日本研究の基礎から発展まで全て英語で学修し、日本から見た世界を、世界から見た日本を視点にした研究を学びます。

国際関係学プログラム
(日本語で学修するプログラム)

狭義の国際関係学という枠組みを越え、政治、経済、文化・社会・メディアという縦軸に、地域研究という横軸が走り、多様な領域を横断する極めて学際的な研究と教育を指向している点に大きな特徴があります。この学問体系を可視化するものとしてクラスターを用いています。先端的な地域研究の醍醐味と、政治・経済・文化社会メディアの各ディシプリンを横断する学びの魅力に触れてほしいと思います。

日本語基準プログラム/英語基準プログラム



Global International
Relations Program
(英語で学修するプログラム)

Global Governance Cluster, Sustainable Development Cluster, Culture, Society and Media Cluster, Global Japanese Studies Cluster という4つのクラスターで構成された幅広いテーマを提供します。これらの科目とともに、東アジア研究、東南アジア研究、欧州研究、アフリカ研究、中東研究を含むさまざまな地域研究を提供します。学生は、21世紀のグローバルな課題を理解するために、専門分野と地域研究の観点をうまく組み合わせた学修を経て、成長することが期待されます。



特徴

1. 1992年開設で歴史ある大学院

多くの国際系大学院がありますが、国際関係学を学ぶ大学院として、西日本で最初に開設されました。

2. 日本語、英語で学位取得可能

日本語、英語 それぞれの言語で構成されたカリキュラムのいずれかが選択可能です。

3. 幅広く多様なディシプリンで形成された国際関係学のカリキュラム

政治・経済/開発・文化・社会・メディアといった幅広いディシプリンで形成された国際関係学のカリキュラムを学ぶことができ、越境する国際諸問題の理解学習に必要な複数のディシプリンによる論文指導を複数指導教員体制の下、受けることができます。

4. 世界各地を網羅した豊富な地域研究の提供▶ダイナミックな国際情勢を学ぶ

北米、中南米、中東、アフリカ、日本、東アジア、東南アジア、南アジア、ヨーロッパまで網羅した科目の提供と論文指導が可能です。

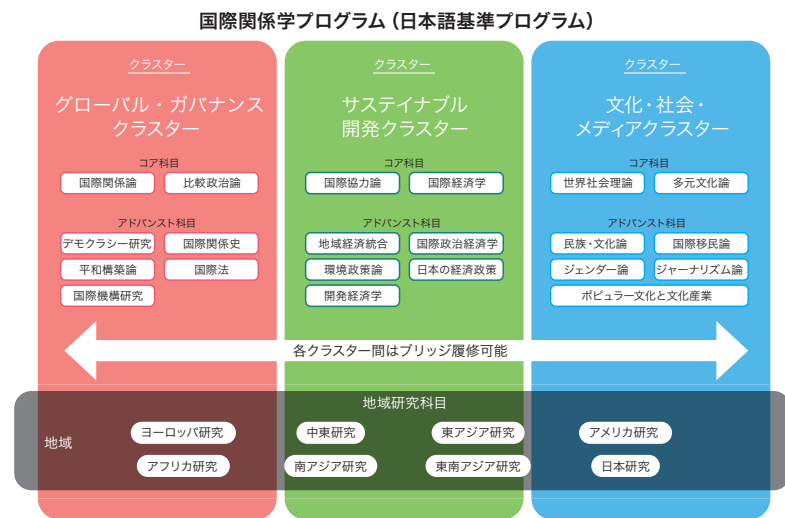
5.国際的な大学院ネットワーク(APSIA)へ、日本唯一の正会員加盟

ハーバード大学、イエール大学を始めとした世界の国際関係学をリードする大学院が集まる、国際的な大学院ネットワーク(APSIA)に日本の大学・大学院の中で唯一正会員として加盟し、国際関係学の教育・研究で日本をリードする存在として世界的に認められています。

6. 将来、国際機関等で働く人材を育成するプログラム

国際機関への進路就職を目指す方を対象に、講義から実務に至るまでの理論と実践の場を提供します。(国際機関セミナー(正課科目)ほか)

クラスターと主な開講科目一覧



※入学者の所属はプログラムのみで、いずれのクラスターで分類される科目も履修することが可能です。
※全ての科目が毎年開講されるものではありませんので、詳しくは入学後のオリエンテーション等で正確な情報をご確認ください。

多様な教育・研究を生み出す2つの専攻、14の専修

文学研究科は人文学専攻と行動文化情報学専攻による、2専攻14専修の体制となっています。伝統的な人文学に加え、情報技術と人文学を融合させたこれまでにない新しい学問分野を展開しています。

人文学専攻	哲 学 専 修	古代ギリシア哲学から近代哲学、倫理学、社会哲学、現象学、フランス現代思想といった諸分野に専任スタッフを配置し、2600年以上前に始まる「人間とは何か」という課題に取り組みます。
	教 育 人 間 学 専 修	「こころ」の問題を媒介として、教育と人間のかかわりを多角的に考究します。その出発点は、生まれ、育ち、出会いや別れをへて、やがて老い、死にゆく人間の営みに対する驚きと慈しみです。
	日 本 文 学 専 修	長い歴史に培われた日本の文学作品やことばを通じて、日本文化の特質を探索します。想像力溢れる作品群は、時代を超えて私たちの胸を打ちます。新たな視点で先端的な研究をめざします。
	中国文学・思想専修	悠久の歴史の中ではぐくまれ、東アジアの文化に大きな影響力をもつ中国の文学や思想に関する高い識見を養い、そこに存在する興味深い問題について清新な研究を展開します。
	英 米 文 学 専 修	英米を中心とする英語文学・文化を広く深くカバーする専門分野の教員が指導に当たり、高度な英語力や分析力を養います。研究職はもとより、英語力が要求される多様な職場への就職が考えられます。
	日 本 史 学 専 修	古代から現代に至る各時代のスペシャリストが、伝統ある「立命史学」に立脚した新たな歴史学を構築します。全国各地で教員・学芸員として活躍する先輩たちとのネットワークも充実しています。
	東 洋 史 学 専 修	中国を中心とする東アジア世界を、その起源に遡って研究します。そのための方法としての原典読解は、昨今の東アジア諸地域におけるダイナミックな動きの原点を探る上で有益でしょう。
	西 洋 史 学 専 修	古代～現代の西欧・東欧における政治史、文化史、社会史など広い領域にわたる教員スタッフが、専門の垣根を越えて研究を発展・深化できるように、協働しています。
	文化動態学専修 【博士課程前期課程のみの募集】	比較文化論、言語学、歴史学、美術史、現代芸術批評、音楽文化論、社会思想史、文化人類学等の専門領域を横断しながら文化のダイナミズムに取り組める専修です。
	現代東アジア言語・文化学専修	中国（台湾・香港などを含む）・朝鮮半島を領域とし、そこにおける言語・現代文化・現代史を教学分野として、中国語・朝鮮語の実践的なコミュニケーション能力を身につけた、グローバルな東アジア人を育成します。
行動文化情報学専攻	英 語 圏 文 化 専 修	英語学・言語研究および英語圏文化の歴史、文化・文学を分野横断的に研究します。高度な専門性を磨きつつ学際的な思考力を身につけます。また、これらの研究を通して国際的に活躍できる英語運用能力を養います。
	地 理 学 専 修	地表上のさまざまな現象を空間的関連性の観点から解明するのが地理学です。専修には幅広い専門分野に多くの教員スタッフがいて、質の高い研究・教育を展開しています。
	文化情報学専修	人文学に情報技術を取り入れたデジタル・ヒューマニティーズの手法を応用し、世界に誇る日本文化・芸術・文化遺産をテーマに、研究手法の格段の効率化を図り、魅力的で豊富な専門知識をキュレーションできる人材を育成します。
	考古学・文化遺産専修	人類の残した遺跡や遺物から歴史を復元する考古学を学ぶと同時に、遺跡や遺物を中心とする文化遺産の保存と活用について学びます。日本列島の考古学と文化遺産が対象ですが、日本列島以外についても広く学ぶことが可能です。

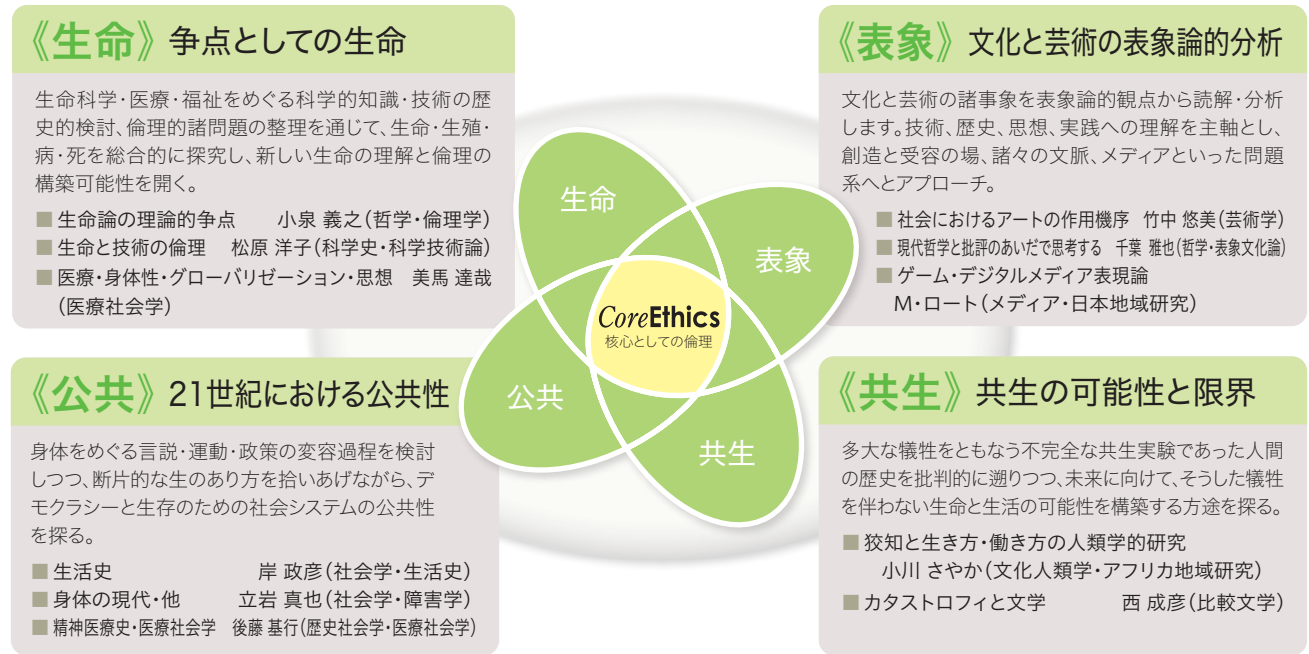
大学院生の目的に応じた2つのコースを設置 [博士課程前期課程]

前期課程では、様々な目的を持つ人を受け入れるため、2つのコース（研究一貫コース、高度専門コース）を導入しています。コースは入学試験出願時に決定し、入学後はそれぞれの目標に沿って研究を進めていきます。

研究一貫コース	高度専門コース
博士課程後期課程に進学して博士学位を取得することを目指す人。 博士学位取得後は、高等教育・研究機関での教育・研究に従事することを目標とする人を対象とします。	博士課程前期課程修了後は、中学・高等学校教員、公務員、学芸員などの専門的知識が必要とされる職業を目指す人。また現役の有職者で、より専門的な能力を身に付けることを目指す人。その他、社会人として幅広い活動に応えられる教養を身に付けることを目的とする人を対象とします。



先端的なテーマを総合的に研究し、研究者を養成するために、2003年4月に開設された一貫制博士課程の独立研究科。「核心としての倫理」を軸として、「公共」「生命」「共生」「表象」という4つのテーマ領域のもとで、本学の研究所・センターと連携し、学内外の研究者とネットワークを構築して、ディシプリンを横断するプロジェクト研究を行い、大学院院生を共同研究者として参画させることによって、研究者養成を進めています。



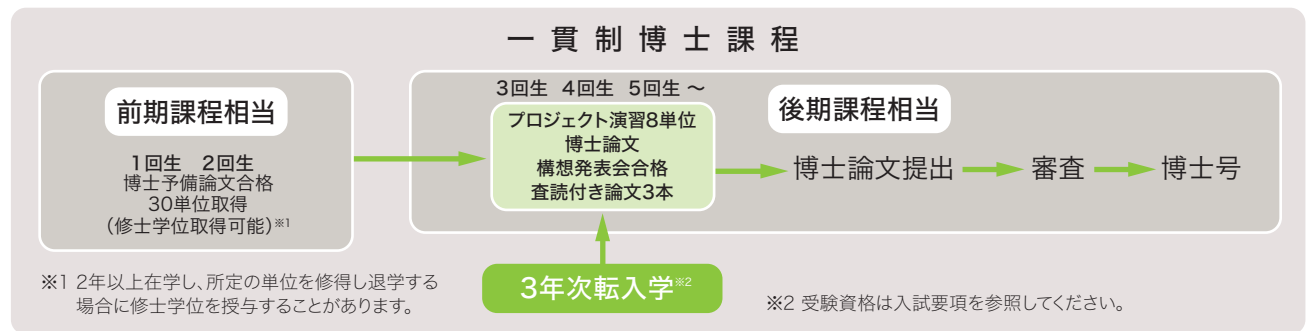
カリキュラム表

分 野		科 目 名
基礎共通科目	基礎講読演習	基礎講読演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	応用講読演習	応用講読演習Ⅰ～Ⅷ
基礎専門科目	主題別講義	公共論史、公共論Ⅰ・Ⅱ
		生命論史、生命論Ⅰ・Ⅱ
		共生論史、共生論Ⅰ・Ⅱ
	特殊講義	表象論史、表象論Ⅰ・Ⅱ
サポート科目	デジタルデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ	
	アカデミックライティングⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	リサーチマネジメントⅠ・Ⅱ・Ⅲ	
プロジェクト予備演習		プロジェクト予備演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
プロジェクト演習		プロジェクト演習



★学位授与数【博士(学術)】
2003年4月の研究科設置以来、136名の博士学位取得者を輩出。(2021年3月31日現在)

←★刊行物
●先端総合学術研究科紀要「コアエシックス」(外部査読員による査読付き雑誌)
●修了生、教員多数の著作物あり。くわしくは先端研ウェブサイトをご覧ください。

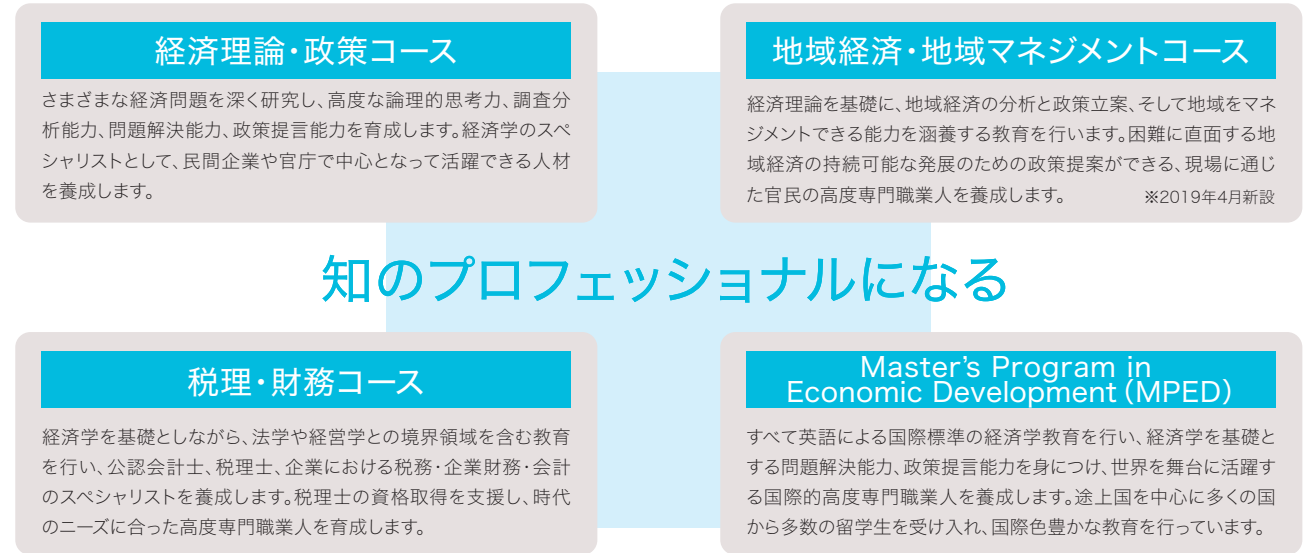


最近の博士論文テーマ

- 精神障害者の社会運動の歴史
- 視覚障害のある教員の教育実践と労働支援
- 障害者政策の合意形成過程に関する研究
ー群馬県と前橋市の手話言語条例をめぐる議論に着目してー
- 傷つきをめぐる理論と実践の社会学
ー「語らずにすむ」社会のために
- 精神障害者のグローバルな草の根運動ー連帯の中の多様性
- 日本の小児人工内耳受容史：導入前・導入初期の聴覚障害教育領域・周辺状況と成人期に入った当事者の受けとめ状況
- 韓国の多様化するシリアスゲームに関する社会文化的研究
ー「ゲーム」と「教育」の対立を超えてー
- インクルーシブ教育実現のための方策の提案
ー都道府県間の特別支援教育の差異に着目してー
- 日本の「ゲームセンター」史ー娯楽施設が社会に根付く過程を中心にー

博士課程前期課程

前期課程では、「経済理論・政策コース」「地域経済・地域マネジメントコース」「税理・財務コース」「Master's Program in Economic Development(MPED)」の4コース制とし、それぞれの人材育成目的の下、少人数による研究指導やカリキュラムの充実を図っています。外国人留学生を積極的に受け入れ、特にMPEDは留学生を中心としてすべて英語による授業を行っています。世界的に高まっている高度なスキルを持つ人材へのニーズにこたえるため、国際通用力の高い論理的思考力と構想力および創造性を持った人材を養成しています。



博士課程後期課程

後期課程では、広い視野と深い専門性および優れた独創性を持ち、新たな領域の研究分野を自ら切り開いてゆくことができる高い研究力量を備えた研究者を養成しています。この結果さまざまな大学や研究機関に多くの人材を輩出しています。

コース・カリキュラム紹介

	経済理論・政策コース	地域経済・地域マネジメントコース	税理・財務コース	MPED
1. 博士課程前期課程 (主な科目)	社会科学概論 ミクロ経済理論 マクロ経済理論 計量経済学 経済史 経済政策 経済理論 社会政策論	地域政策 地域マネジメント論 経済統計 社会科学概論 ミクロ経済理論 マクロ経済理論 地域ブランド論 観光経済論 アグリビジネス論	税法 租税制度論 国際課税 租税各論 商法・会社法 税務会計 インターンシップ	Microeconomics Macroeconomics Econometrics Japanese Economy Frontiers of International Project Development Infrastructure Development Policy Development Economics International Economics Financial Economics Applied Economics Elementary Seminar Research Seminar Special Seminar
2. 博士課程後期課程 (主な科目)	財政学 国際金融 経済発展論 経済学特別演習	金融論 国際経済論 応用経済研究 経済学研究演習	研究演習	特別講義

修了要件

前期課程

修了するためには、2年以上在学し、コア系4単位以上および経済学特別演習Ⅰ、経済学特別演習Ⅱ、経済学研究演習Ⅰ、経済学研究演習Ⅱを含めて30単位以上を修得し、修士論文を提出し、それに基づく最終試験に合格しなければいけません。(MPEDの場合、コア系4単位以上およびElementary SeminarⅠ、Elementary SeminarⅡ、Special SeminarⅠ、Special SeminarⅡ)

後期課程

修了するためには、3年以上在学し、研究演習Ⅰ(2単位)、研究演習Ⅱ(2単位)、研究演習Ⅲ(2単位)、研究演習Ⅳ(2単位)、研究演習Ⅴ(2単位)、研究演習Ⅵ(2単位)を含めて12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士学位請求論文を提出し、それに基づく博士学位授与審査に合格しなければいけません。

過去の修士論文タイトル一例

- 日本のETFのパフォーマンスーETFのトラッキングエラーの実証分析ー
- 移転価格税制における費用分担契約の研究
- Monetary Policy Effectiveness and Financial Development : An Empirical Examination.
- When is a Country Ready to Export Manufactured Goods?
- いじめ問題への経済学への応用
- 消費税法における課税仕入れの制限に関する一考察



「ヒト・ひと・人を科学する」ための学び



文理融合を奏でるカリキュラム

基礎科目	共通基礎科目	科学研究特論 専門英語	研究調査特論	リーダーシップ特論
	専門基礎科目	身体運動科学特論	スポーツ人文社会科学特論	
展開科目	身体運動科学領域	スポーツトレーニング特論 バイオメカニクス特論	運動生理・生化学特論 スポーツ工学特論	健康増進科学特論 運動処方特論
	スポーツ人文社会科学領域	スポーツ教育学特論 スポーツマーケティング特論	スポーツ栄養教育学特論 スポーツマネジメント特論	コーチング行動学特論 スポーツビジネス特論
	特殊講義	スポーツ健康科学特論		
	キャリア形成科目	スポーツ健康科学キャリアプロジェクト	インターンシップ	外国留学科目
演習科目	演習	身体運動科学演習I～III	スポーツ人文社会科学演習I～III	
	研究指導	研究指導I	研究指導II	
後期課程	自由科目	単位互換履修科目	大学院コーオプ演習	
	講義科目	先端スポーツ健康科学特論I・II		
	実習科目	学外実習1・2		
	演習科目	先端スポーツ健康科学特別研究I～VI		

●：必修 ●：身体運動科学領域は必修 ●：スポーツ人文社会科学領域は必修

本研究科修了生 修士論文・博士論文テーマ(一部) ●：修士論文 ■：博士論文

- 生体電位とインピーダンスの同時計測可能なスマートウェアの開発
- 有酸素性トレーニングによる動脈組織中のsalusin- α の増加はアテローム性動脈硬化予防に関与する
- 総合型地域スポーツクラブにおける価値共創が会員の顧客市民行動に与える影響について-共同関係の強さに着目して-
- 若年女性における3日間のエネルギー摂取および炭水化物摂取制限がヘプシジンの分泌に及ぼす影響
- クラシックバレエダンサーのドゥミ・ポアントにおけるバランス能力と足趾外転運動との関係
- 中国下部リーグサッカークラブの地域密着に関する研究 -黒竜江FCを事例として-
- 筋肥大を効果的に高めるたんぱく質およびアミノ酸摂取の探索
- 高強度・短時間・間欠的運動が運動後の安静時酸素摂取量に与える影響に関する研究
- 低酸素環境下での持久性運動がコンディション関連指標に及ぼす影響
- 中年期女性を対象とした骨粗しょう症予防のための運動・栄養処方～サルコペニアおよび動脈硬化に着目して～
- アスリートにおける足趾筋力と運動パフォーマンスとの関係
- 小学生の体力向上を目的とした運動プログラムの検討：有酸素性能力、疾走能力に着目して
- 筋肥大を最大に高める食事パターンの検討～たんぱく質摂取量に着目して～

本研究科修了生 就職先一覧(一部)

- トップアスリートを支える
国立スポーツ科学センター (JISS)
- 医薬品で人々の健康を守る
大塚製薬 (株) クラシエ製薬 (株) ミナト医科学 (株)
- 健康的なライフスタイルをプロデュースする
(株)東急スポーツオアシス (株)ルネサンス
- 人々の暮らしに役立つ製品を生み出す
オムロンオートモーティブエレクトロニクス (株)
(株)バンダイ (株)ニューバランスジャパン
- 人々の質の高い生活をサポートする
アサヒビール (株) キュービー (株)
KDDI (株) ジョンソン・エンド・ジョンソン (株)
(株)ソフトウェア・サービス
- ビジネス・パフォーマンスの向上を提案する
アクセンチュア (株)
- 企業と人々を結びつける
(株)リクルートホールディングス
(株)インテリジェンス (株)ウィルグループ
- 地元経済の発展に寄与する
(株)西日本シティ銀行
- 人々の暮らしの仕組みと豊かなまちを創る
地方公務員 (上級職)
- 未来を生み出す人を育てる
教員 (学)立命館
- 世の中に起こる様々な事象を伝える
関西テレビ放送 (株)

日本学術振興会特別研究員採用率

「日本学術振興会特別研究員」とは、国の優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度。本研究科院生は【2016年度～2019年度の平均採用率：34.7%】と、他大学大学院同分野と比較しても高い採用率を堅持しています！

自らの研究で日本や世界の「食」を変革する壮大な夢の実現へ

	博士課程前期課程	博士課程後期課程
修業年限	2年	3年
入学定員	20名 (収容定員40名)	3名 (収容定員9名)
取得学位	修士 (食マネジメント)	博士 (食マネジメント)

人材育成目的

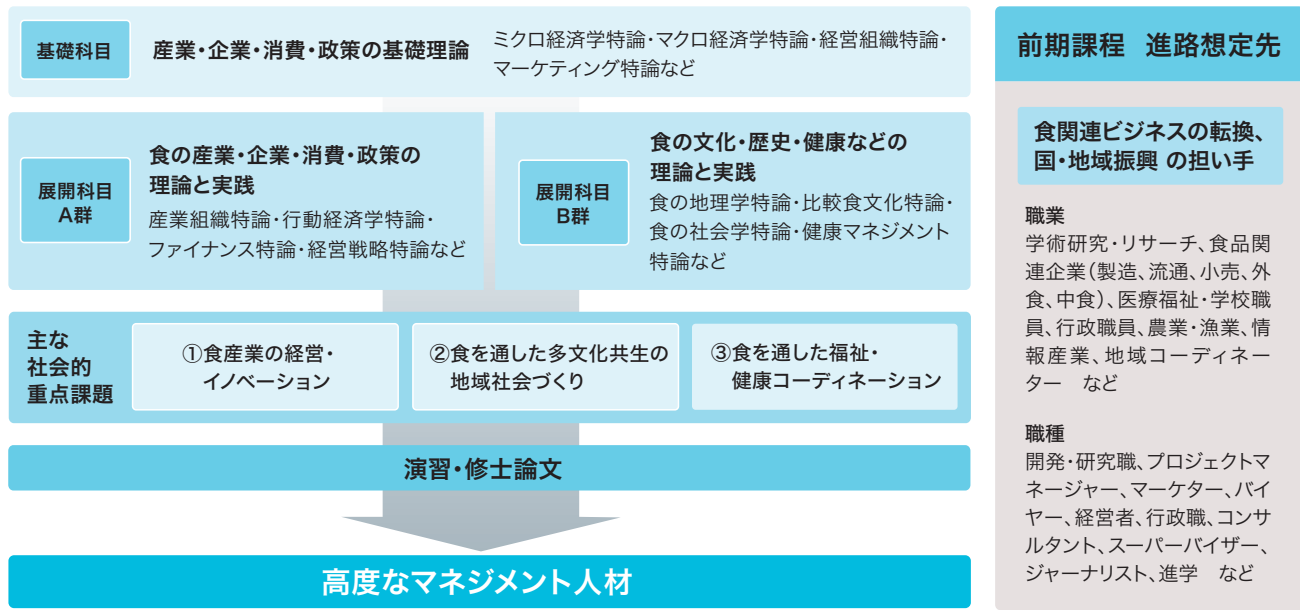
研究科共通

食マネジメント研究科は、経済学・経営学の専門的知見を用いて、食に関わる経済活動を研究し、実践的なマネジメント能力を備えた高度専門職業人および研究者の育成を目的とする。

修了要件とカリキュラム

博士課程前期課程

科目区分	修了要件		科目名称			
	必要単位数	合計				
基礎科目	8単位以上	30単位以上	食マネジメント特論	ミクロ経済学特論	マクロ経済学特論	統計学特論
			経営組織特論	会計学特論	マーケティング特論	食総合特論
展開科目	A群 8単位以上		産業組織特論 ファイナンス特論 商品開発特論I	行動経済学特論 経営戦略特論 商品開発特論II	国際経済学特論 食サービスマネジメント特論	食料経済学特論 食のリスクマネジメント特論
	B群 —		食の地理学特論 フードクリティーク特論	食の歴史学特論 食の公共政策特論	比較食文化特論 健康マネジメント特論	食の社会学特論 食と認知科学特論
研究演習	6単位以上		研究演習I	研究演習II	研究演習III	研究演習IV
その他	—		アカデミックイングリッシュ	食マネジメント実践特論		



博士課程後期課程

科目区分	修了要件	科目名称			
共通科目	4単位以上	12単位以上	特別講義I	特別講義II	特別講義III
実践科目	—		研究実践I	研究実践II	
研究演習科目	8単位以上		特別研究I 特別研究V	特別研究II 特別研究VI	特別研究III 特別研究IV

前期課程 進路想定先

食関連ビジネスの転換、国・地域振興の担い手

職業

学術研究・リサーチ、食品関連企業 (製造、流通、小売、外食、中食)、医療福祉・学校職員、行政職員、農業・漁業、情報産業、地域コーディネーター など

職種

開発・研究職、プロジェクトマネージャー、マーケター、パイヤー、経営者、行政職、コンサルタント、スーパーバイザー、ジャーナリスト、進学 など



研究科の特徴

今、めまぐるしいスピードで科学技術が変化・進展し、社会や産業も変わり続けています。理工学研究科は、理学と工学の伝統的な高度な理論・技術だけでなく、IoTやAIまで、あるいはハードウェアからソフトウェア、高齢化社会対応問題、地球規模の環境問題などまで、幅広く取り組みます。そして、新しい価値を創造できる研究者や高度専門技術者の育成を目指します。海外科学技術実習を支援するプログラムによってグローバルに活躍できる研究者や高度専門技術者の育成も目指しています。

4つの専攻

基礎理工学専攻 数理学コース 物理学コース

ファイナンスや情報セキュリティ分野における数理学、エネルギー問題やナノテクノロジーにおける物理学と工学の融合など、多分野とも関連を持って発展する学問分野を研究します。

電子システム専攻 電子システムコース

毎日の生活を支えるエレクトロニクスや光工学、高性能かつ大規模な電子・情報システムなど、多岐にわたる電気電子工学領域を研究します。

機械システム専攻 機械工学コース ロボティクスコース

マイクロ機械コース

機械工学・ロボティクス・マイクロ機械工学に基礎を置き、これらの融合分野をも包括した教育・研究を行います。

環境都市専攻 都市システム工学コース

(*1)

環境システム工学コース

(*2)

建築都市デザインコース

都市の社会基盤の整備、地球環境問題やバリアフリーへの配慮など、安全な社会生活を送るために解決すべき課題について教育・研究を行います。

(*1) 2022年度からのコース名称(2021年度までのコース名称:歴史都市防災コース)
(*2) 2022年度からのコース名称(2021年度までのコース名称:環境社会工学コース)



博士課程後期課程

博士課程前期課程

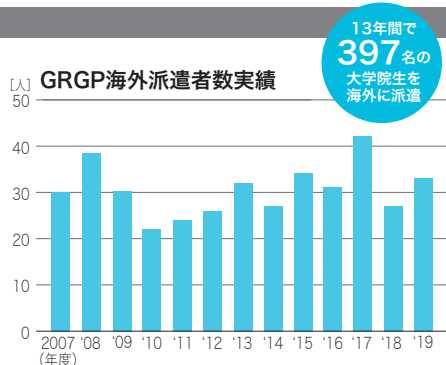
教育・研究の世界展開

実践的英語力を身につけ、海外での武者修行に挑む

理工学研究科では、世界各国から留学生を受入れるとともに、多くの日本人学生を海外に派遣しています。「国際的なフィールドで活躍するための意欲や素養・経験を身につけたリーダーとなり得る理工系技術者・研究者の養成」を目標に、Global-ready Graduate Program (GRGP)はその前身となるプログラムを2007年度にスタートさせました。正課で理工系学生の研究推進に必要な実践的英語コミュニケーション能力を集中的に身につけさせるとともに、学生を世界各国の大学・研究機関・企業での留学に送り出しています。

インドのトップクラス理工系大学との教育・研究交流

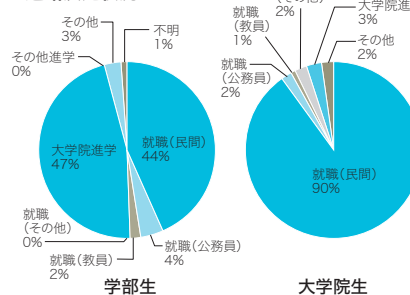
立命館大学理工系3学部・3研究科は、以前からインド工科大学ハイデラバード校(以下、IITH)やニッテ大学NMAMIT、シンピオシス国際大学など、インドの理工系大学と様々な学生・研究交流等を進めています。「インド工科大学ハイデラバード校PBLプログラム」では、インドが直面している様々な課題について、事前講義で調査・解決方法を提案し、IITHでの現地研修(7日間程度)において、企業訪問や施設見学、IITH学生とのPBL(Problem/Project Based Learning)を行います。PBLを進める中で課題を発見し、その解決策を見つけて出すプロセスの重要性を学び、思考力・推進力・チームワーク・英語でのコミュニケーション力等を身につけます。



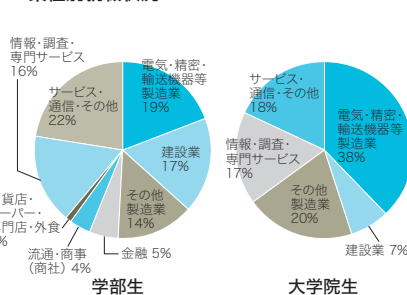
大学院修了者の就職実績(2020年3月卒)

理工学の専門性を活かすためには、大学院修了が大変優位です。特に製造業ではその差は顕著です。また、「研究・設計・開発職」へ従事する割合についても、学部卒を上回っています。 ※円グラフの数値(%)は、小数点以下を四捨五入したものであり、端数処理の関係で100%にならない場合があります。

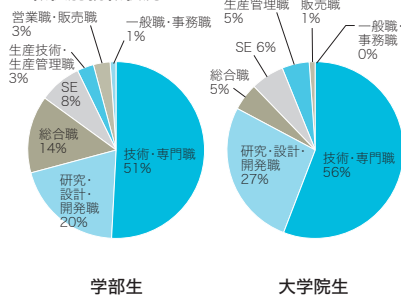
進路決定状況



業種別就職状況



職種別就職状況



MASTER 博士課程前期課程

情報理工学専攻

計算機科学コース

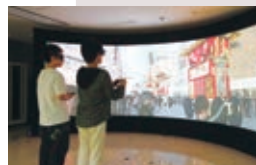
計算機科学コースでは、計算機アーキテクチャやソフトウェア技術、情報ネットワーク技術を中心にヒューマンインタフェースや認知工学といった分野の教育研究を行います。

人間情報科学コース

人間情報科学コースでは、言語・音声・画像などのメディア処理技術やバーチャルリアリティ、知能システムや人間工学、知能ロボティクスといった分野の教育研究を行います。

博士課程前期課程
情報理工学専攻
計算機科学コース
人間情報科学コース

博士課程後期課程
情報理工学専攻



DOCTOR 博士課程後期課程

情報理工学専攻

情報理工学専攻では、研究科に相応しい高度な専門的実験・実習設備・機器環境を活用した教育・研究を展開します。また、国際連携、地域連携や国内外の産業界、学内関連研究科との連携等、様々な連携型研究を行います。

修了要件とカリキュラム

前期課程

科目分野	必要単位数
共通科目	4単位以上
固有専門科目	10単位以上
特殊研究科目	16単位
自由科目	—
合計	30単位以上

「グローバル科目」を2単位以上修得すること

後期課程

科目分野	必要単位数
特別研究科目	8単位以上
実習・演習科目	—
自由科目	—
合計	8単位以上



固有専門科目・特殊研究科目(前期課程)

科目区分	計算機科学コース	人間情報科学コース
固有専門科目	Webインテリジェンス特論 言語メディア特論 システムプログラム特論 情報セキュリティ特論 ソフトウェア工学特論 知能機械特論 分散システム特論 マルチエージェントシステム特論 ワイヤレスネットワーク特論 組込みシステム特論 Advanced Topics in Communication Science ★ Advanced Topics in Global Software Engineering ★ Advanced Topics in Computer Science ★ Advanced Topics in Human Factors for System Engineering ★ Special Topics ★ 特殊講義 データサイエンス特論 データサイエンス特論演習 ヘルスケアシステム開発 ヘルスケアシステム開発演習 機械学習特論 機械学習特論演習	Webインテリジェンス特論 音声音響メディア特論 言語メディア特論 システム制御特論 生体情報処理特論 知能機械特論 脳機能情報処理特論 ビジュアルコンピューティング特論 ヒューマンインタフェース特論 Advanced Topics in Computational Intelligence in Games ★ Advanced Topics in Image Processing ★ Advanced Topics in Knowledge-based Systems ★ Advanced Topics in Human Factors for System Engineering ★ Special Topics ★ 特殊講義 データサイエンス特論 データサイエンス特論演習 ヘルスケアシステム開発 ヘルスケアシステム開発演習 機械学習特論 機械学習特論演習
特殊研究科目	情報理工学特殊研究1~4	情報理工学特殊研究1~4
自由科目	技術者実践英語特論	技術者実践英語特論

特別研究科目(後期課程)

情報理工学特別研究1~6

★ 印は英語で開講する科目です。

数字で見る就職実績

研究科修了者の就職実績を学部卒業者と比較してみると、就職決定率だけでなく、就職先の規模においても有利であることがわかります。また職種別で比較すると、研究職や高度専門職に就く可能性が圧倒的に高まります。

	学部	研究科
就職決定率(就職決定者/就職希望者)	94.3%	98.4%
巨大企業・大企業への決定率 (資本金規模別) ※巨大企業:資本金10億円以上 大企業:資本金1億円以上10億円未満	79.6%	88.8%
東証一部上場企業への決定率	34.4%	59.4%
技術専門職	24.9%	25.9%
研究・設計・開発職	7.8%	45.2%

グローバル人材の育成

海外IT研修プログラム

国際社会を舞台に活躍できる人材育成を目標に掲げている当研究科では、一定の英語運用能力を有する学生を対象に、長期休暇期間を利用した海外IT研修プログラム(インド)を展開。日常生活から学びに至るまですべてを英語で行うトータル・イマージョン・スタイルを採用し、より高いレベルの英語運用能力・異文化適応能力を養います。

海外インターンシップ・プログラム

海外でのインターンシップ(ベトナム・インド・中国・アメリカ)を通じて自らの専門分野を深め、実践的な能力を修得するとともに、自己理解を深め、職業の実像をつかみながら、将来の進路選択として確かな職業観を身につけることを目的としています。日系IT企業や現地IT企業でIT知識を活用することによって専門性を深めることができます。





MASTER 博士課程前期課程

生命科学専攻

応用化学コース

応用化学コースでは、物理化学・無機化学・分析化学・有機化学・生化学などを基盤として、物質の機能を解明するための、また、新物質の創製を実践するための化学的理論と技術を幅広く学びます。材料化学からエネルギー、生体関連物質まで、幅広い分野で研究を展開します。

【キーワード】
●新物質 ●ナノテクノロジー ●環境分析 ●エネルギー変換 ●機能材料

生物工学コース

生物工学コースでは、生化学、分子生物学、微生物学などを基盤とし、環境、食料、資源、エネルギーに関連する生物工学理論や技術を幅広く学びます。また、生物機能、生態系の構造・機能の解析や生物由来生理活性物質の解明などの基礎研究や、これらを基盤とした環境、食料、資源、エネルギーに関する応用研究を展開します。

【キーワード】
●微生物 ●バイオエネルギー ●分子生物学 ●環境浄化 ●生物資源 ●植物

生命情報学コース

生命情報学コースでは、コンピューター（情報科学）を利用して、生命活動の仕組みを解明するため、その基礎となる生命科学、情報科学、生物機能の解析技術に関する専門知識を幅広く学びます。その上で、遺伝情報、タンパク分子構造—機能相関、生体機能などの数理解析に関する研究を行い、生命科学、医学薬学、食品、情報技術に関連した研究を展開します。

【キーワード】
●システムバイオロジー ●ゲノム解析 ●情報科学 ●バイオインフォマティクス

生命医科学コース

生命医科学コースでは、多岐にわたる基礎医学の先端領域とその融合領域を学び、未知の生命現象や様々な疾病の発症機構を解明します。更に、先端技術で開発された医薬品などの新規医療技術の適切な評価と社会への応用方法も学び、広く生命医科学研究を展開します。

【キーワード】
●再生医学 ●癌 ●脳科学 ●生活習慣病 ●生薬 ●稀少疾患 ●医用材料 ●医療政策



博士課程後期課程

DOCTOR 博士課程後期課程

生命科学専攻

生命科学専攻では、博士課程後期課程に相応しい高度な専門の実験・実習設備、および機器環境を活用した教育・研究を展開します。また、国際連携、地域連携、国内外の産業界、学内関連研究科との連携等、様々な連携型研究を行います。

教員の研究内容については、生命科学研究科ウェブサイトでご確認ください。

修了要件とカリキュラム

前期課程

科目区分	必要単位数	合計
共通科目	4単位以上	
コア科目		
専門科目	10単位以上*	30単位以上
選択科目		
研究科目	16単位	

※コア科目は3科目6単位以上修得する必要があります。

後期課程

科目区分	必要単位数	合計
専門科目	—	
研究科目	8単位以上	8単位以上

専門科目(コア科目)(前期課程)

【応用化学コース】

構造物理化学特論
反応物理化学特論
物性・反応化学特論
無機構造物性化学特論
無機機能材料化学特論
X線分析化学特論
有機分子化学特論
有機機能材料化学特論
有機反応・構造化学特論
応用生物化学特論

【生物工学コース】

環境バイオテクノロジー特論
エネルギー・資源バイオテクノロジー特論
食料バイオテクノロジー特論
生物工学研究特論

【生命情報学コース】

ゲノム情報学特論
分子構造・機能学特論
数理生体機能学特論
分子設計学特論
生体分子ネットワーク特論
植物生理学特論

【生命医科学コース】

基礎生命医科学特論
応用生命医科学特論
先端生命医科学特論
生命医科学研究法概論

研究科目(前期課程)

生命科学特殊研究Ⅰ～Ⅳ

研究科目(後期課程)

生命科学特別研究Ⅰ～Ⅵ

薬学専攻

高度化する医療において、先導的な役割を果たす薬剤師・医療人・研究者を養成

4年制

薬学専攻博士課程

医療薬学分野と病態生理解析分野の2つの分野を設けて教育・研究を行います。それぞれの専門分野にとどまらず、基礎薬学から臨床薬学に至る幅広い領域の最先端の知識取得が可能となるような、科目配置と研究体制を整備しています。

薬学専攻博士課程の人材育成目的

薬学の専門的知識と研究力を備え、使命感、倫理観を有する高度な薬剤師、医療人、研究者として、地域や社会に貢献できる有為な人材を養成することを目的とします。



修了要件

薬学専攻博士課程

4年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、専門科目で14単位以上(医療薬学分野と病態生理解析分野の2つの分野のうち、選択した分野科目から10単位以上、選択しなかった分野科目から4単位以上)、特別研究科目から16単位修得し、学位審査を経て博士学位の授与をもって修了したものとします。

薬科学専攻博士課程前期課程

2年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、専門科目(コア)より、8単位以上(うち、履修する専門分野の特論2単位および履修する分野以外の特論2単位以上)、専門科目(コア)および専門科目(選択)からあわせて14単位以上、「演習(8単位)」および「特別実験(8単位)」を必ず履修する必要があります。

薬科学専攻博士課程後期課程

3年間(標準修業年限)以上在籍するとともに、「特別研究Ⅰ～Ⅵ」を含む12単位以上を修得し、学位審査を経て博士学位の授与をもって修了したものとします。



過去の博士論文

「立命館学術成果リポジトリ」で閲覧できます。

薬科学専攻

創薬分野の研究を深め、新薬の発見・創製につなげる研究者を養成

2年制

薬科学専攻博士課程前期課程

多岐にわたる医薬品創製のプロセスを5つの分野(薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学)に分類し、専門分野に応じた基盤的な知識および先端的研究技術が取得できる教育・研究体制を整備しています。

薬科学専攻博士課程前期課程の人材育成目的

薬科学の専門知識および研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成します。



3年制

薬科学専攻博士課程後期課程

高度な専門知識と研究に必要な一連の能力を取得できる教育・研究体制を整備しています。

薬科学専攻博士課程後期課程の人材育成目的

高度な薬科学の専門知識および優れた研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成することを目的とする。





立命館大学大学院 経営学研究科では、これまでの経営学の体系的な学びを深めることに加え、「これからの経営学の可能性」を追究しています。そのために、世界・日本の学術・研究をリードする教授陣と実践的なプログラムを用意しています。あなたの将来の可能性をさらにここで伸ばしてみませんか？



博士課程前期課程

前期課程では、「技術経営・戦略」「組織・人事」「マーケティング」「国際ビジネス」「会計学」「ファイナンス」「デザイン・マネジメント」などの分野で、これからの企業経営の展開を視野に先進的で多面的な教育を行っています。経営学に関する高度な専門知識および、会計や統計の処理、語学などに関する高度な技能をもち、組織の中で適切に知識と技能を活用できる人材を育成します。併せて、社会の要請に応え、正義と倫理をもち、グローバル化する社会の中で組織のリーダーシップを発揮しうる人間を育成します。

時代は未来の「あるべき社会」を創造し、それらを実現する力をもったマネジメント人材を求めています。経営学研究科は、経営学の専門知識修得を中心にしつつ、幅広い学際的素養を身につける多様な学びと能動的な研究姿勢を支援する大学院教学を展開しています。

前期課程での学修の進め方

前期課程での学修は修士論文の作成が集大成となりますが、経営学研究科では2回生から修士論文指導が始まるカリキュラムとなっています。1回生時は「基幹科目」「展開科目」の履修により経営学に関する理論の修得や、「研究方法科目」の履修による情報収集・分析手法の獲得など総合的な学力を身につけることが重要です。併せて、外国文献研究または英語開講科目を受講することにより、英語文献レビューと英語での学修を進めます。研究指導教員は各自の研究テーマにもとづく調整によって、1回生春学期中に決定します。「研究展開科目」を研究指導教員の指導のもと各自の研究テーマに沿って、1回生秋学期に履修します。2回生では、1回生時に修得した専門知識をもとに、修士論文の執筆が本格化します。春学期には中間報告会にて研究経過を報告し、2回生秋学期に研究成果を修士論文として仕上げます。

博士課程後期課程

後期課程では、指導教員のもと、前期課程における研究を継続して研究論文を執筆し、学会誌への掲載や、学会での報告などによって深化させ、高度な研究能力を身につけ、将来にわたって研究活動を継続できる自立した研究者を育成します。

主な開講科目一覧 前期課程

科目群	科目名	単位数	科目群	科目名	単位数
基 幹 科 目	経営史Ⅰ(アジア・日本)	2	研究 方法 科 目	統計学Ⅰ	2
	競争戦略	2		統計学Ⅱ	2
	マーケティング	2		研究方法論	2
	生産マネジメント	2		外国文献研究Ⅰ～Ⅳ	各1
	組織科学	2		アカデミックライティング	2
	経営財務	2	英 語 開 講 科 目	International Business I	2
	会計学	2		International Business II	2
展 開 科 目	ビジネス・エコノミクス	2		Finance	2
	アントレプレナーシップ	2		Marketing	2
	金融・証券	2		International HRM	2
	経営史Ⅱ(欧米)	2		Environmental Management	2
	ビジネス倫理	2		Business Economics	2
	人的資源管理	2		Special Lecture※1	2
	財務会計	2	キャリア開発科目	大学院コーオプ演習	2
研究展開科目	企業会計	2		インターンシップ演習	2
	技術経営・戦略研究	2		海外インターンシップ	2
	マーケティング研究	2	特 殊 講 義	特殊講義Ⅰ～Ⅹ※2	各2
	組織・人事研究	2	研究 指 導 科 目	特別演習Ⅰ	2
	国際ビジネス研究	2		特別演習Ⅱ	2
	会計学研究	2			
	ファイナンス研究	2			
	デザイン・マネジメント研究	2			

※1「Introduction to International Management」、「Merger and Acquisitions in the frame of International Business」など種々な内容で開講

※2「計量経済学入門」、「質的調査法」、「量的調査法」など種々な内容で開講

過去の論文タイトル一例

- 博士課程前期課程** 「コンテンツ産業における競争優位の再構築とイノベーション：ネットフリックスを事例として」「従業員満足度に影響を与えるインターナル・マーケティング・ミックスの特定～既存尺度の再検討を通じて～」「コーポレート・ガバナンスが日本企業のコストの下方便直性に与える影響」
- 博士課程後期課程** 「デスティネーション・マネジメントの理論的再検討ー地域再生の核となるツーリズムの展開を巡ってー」「プロフェッショナルとしてのデザイナーの持つデザイン態度(Design Attitude)の探索的研究」

現代社会が直面する政策課題の理解と適切な解決策の創造に関する研究能力を育成する

政策科学研究科目

公共政策関連科目

政策形成過程への視野を修得する科目が配置されています。政策過程は合意の形成過程であり、政策・施策の「社会的合理性」がこの科目群の主題となります。政治過程論、行政学、公共哲学、法政学を中心とする科目が配置されています。

環境開発関連科目

政策・施策の「科学的合理性」がとりわけ重要な意味をもつのは、環境・開発・都市の領域です。この科目群には、環境科学・都市工学・計画理論を中心とする科目が配置されています。

社会マネジメント関連科目

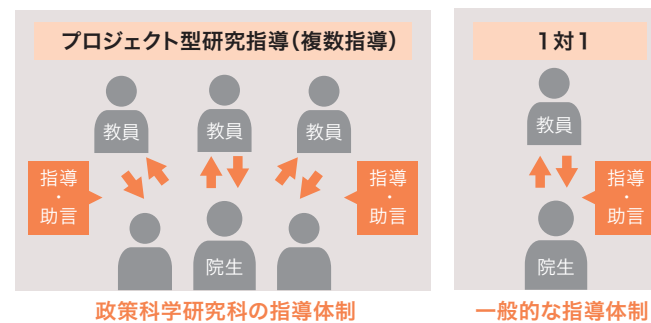
「市場的合理性」(効率性と組織マネジメント)は、営利企業はもちろんのこと、公共機関・非営利組織の課題を解決するための重要な視点です。この科目群には、経済学・経営学・社会学の知見を広く社会の諸部門の問題解決に接続させるための科目が配置されています。

共 通 科 目

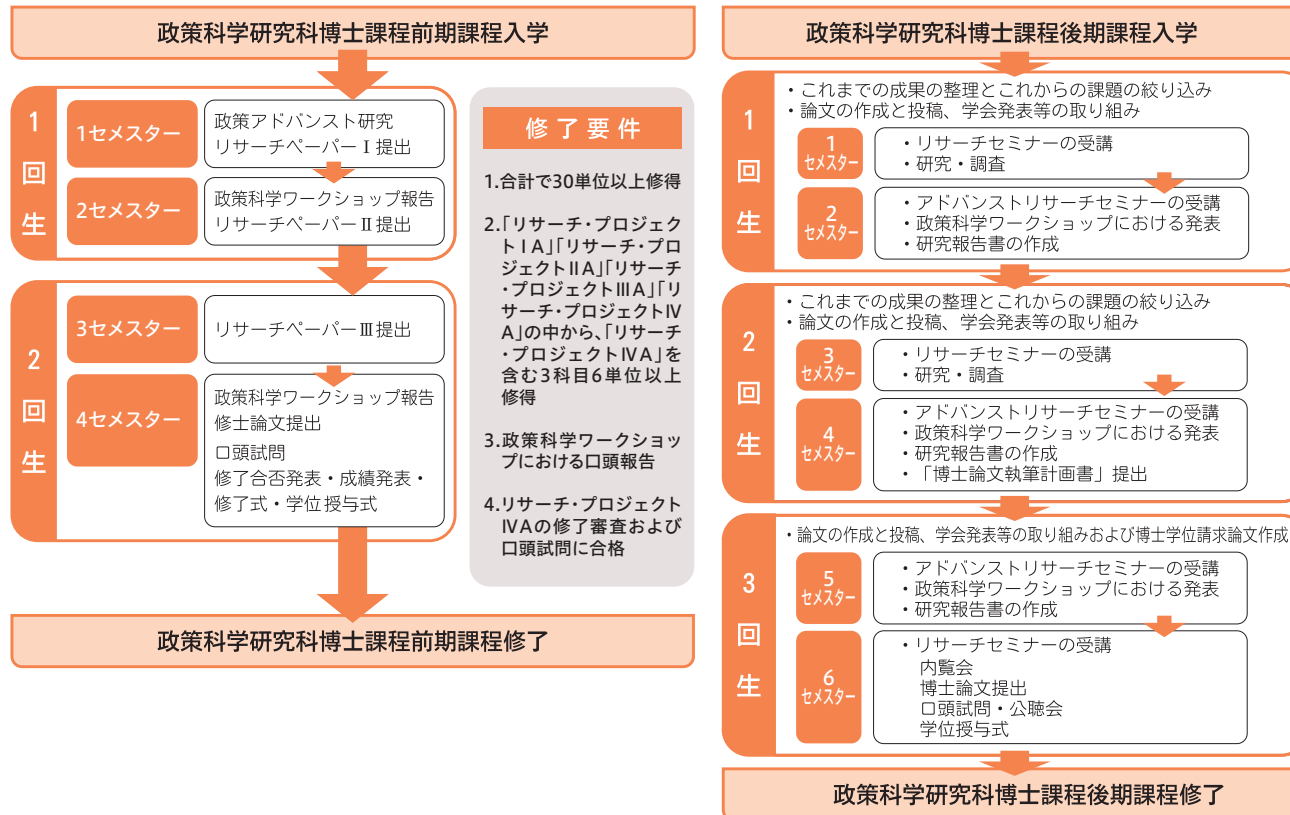
学知の総合としての政策科学の基礎を修得する科目、研究領域や研究課題を問わず必要とされるスキルを修得するための科目が配置されています。新しい学問分野である政策科学の基礎理論、基本的な分析手法を修得することができます。

政策課題に応じたプロジェクト型の研究指導体制

政策科学研究科は、領域横断的な教員の共同研究チームを組織し、それぞれのチームによる共同研究プロセスに院生が参加するプロジェクト型研究指導(PBL)の方法を採り入れています。リサーチ・プロジェクトでは、一人の指導教員が一つの専門領域に特化した研究指導を行うのではなく、領域・テーマに共通の関心を持ちながらも、それぞれ異なった学問的背景を持つ複数の教員が院生の研究指導を行う集団的指導の方法を取り入れています。



研究指導フローチャート



過去の修士論文／博士論文タイトルの例

<博士課程前期課程>
◇Silver democracy in Osaka Metropolis Plan Referendum - An Examination of the Theory ◇冷戦後のトランスナショナル・ネットワークと民族紛争 ―コソボ紛争を事例として― ◇公的資金の地域経済への影響に関する研究 ―長野県飯田下伊那地区を事例に― ◇二酸化炭素吸収促進に寄与する森林施策の評価 ◇アニメ作品の「聖地巡礼」を通じた中国人観光客の誘致策に関する研究 ◇Conflict Resolution over Coastal Resources : A Case Study of Mining, Fisheries, and Tourism in Bangka Belitung Province, Indonesia
<博士課程後期課程>
◇A Study on Conventional Motorcycle Taxi's Demand in the Urban Fringes of Outer Metropolitan Area: Case Study in West Java, Indonesia(大都市圏外縁部における在来型バイクタクシー需要に関する研究:インドネシア・西ジャワ州を事例として) ◇The Analysis of Government Spending on Education: Theory and Empirical Evidence from the Districts in Indonesia(政府の教育支出に関する分析:理論とインドネシアの県レベルデータから見る実証的証拠) ◇韓国政府による在日コリアンの包摂と排除―季承晩政権を中心に― ◇大震災を想定した集中型観光客への公助対応フレームワーク(PSDRフレームワーク)による避難難民政策に関する研究 ◇世界遺産姫路城を事例として



ビジネスを創造するリーダーを育成

Feature 01 経営を基本から学ぶ

MBAのグローバルスタンダードに準拠した基礎科目で経営について1から学び、より応用的な展開科目、そして多彩な特殊講義を受講していきます。入学後に履修アドバイザーから履修方針について個別アドバイスを受けます。初めて経営を学ぶ人も不安なく学修を進められます。

Feature 03 問題関心を掘り下げる

「課題研究」(ゼミ)では、担当教員による集団指導・個人指導の下、自らのキャリアに関わるテーマについて研究を行います。研究の課題と内容が重要であり、最終レポートは必ずしも学術的な形式に沿う必要はありません。

Feature 02 実践力を養う授業

知識を身につけるだけでなく、実践のために必要なスキルやマインドセットを修得します。多彩な実務家教員からは多くの刺激が得られます。授業ではグループワークやプレゼンテーションの機会が多く、常に真剣勝負が求められます。

Feature 04 生涯にわたるネットワーク

共に学んだ仲間との関係は一生の財産となります。修了生の交流組織によるイベントやゼミ同窓会の活動も盛んに企画されています。研修生として登録すれば、図書館、学内データベース、電子メールを修了後も使用できます。

対象者別の2つのプログラム

キャリア形成プログラム

〈学部卒業生(留学生含む)対象〉

大阪いばらきキャンパス/平日昼間開講

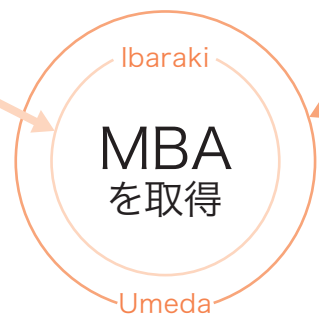
- 4年制大学卒業後、勤続3年未満の方を対象とするプログラム
- ビジネスを創造するリーダーを将来目指し、ビジネスパーソンとして活躍するための知識と能力の向上を目標とする

マネジメントプログラム

〈社会人対象〉

大阪梅田キャンパス/平日夜間・土日開講

- 4年制大学卒業後、勤続3年以上の方を対象とするプログラム
- 経営者や経営幹部を志向するビジネスパーソンはもちろん、起業を検討している方、自分らしいキャリアを構築したい方にも対応
- ビジネスを創造する際に求められるリーダーシップやマネジメント力の向上を目標とする



カリキュラム [2021年度]

基礎科目(14単位以上必修)		展開科目 (特殊講義科目を除くプログラム指定の科目群から16単位以上必修)		演習科目 (4単位必修)	実習科目			
企業経営の基礎的素養を 身につけるための科目群		企業経営の各分野の専門的な力量を 形成する科目群						
A群(10単位以上必修)	B群							
マネジメントプログラム	競争戦略	国際政治経済	【ビジネス科目群】		特殊講義科目			
	マーケティング		戦略ユニット		オーナーシップ			
			経営政策	国際経営戦略				
	組織行動		アントレプレナーシップ	事業創造		戦略コンサルティング		
		組織ユニット						
	ファイナンス	論理的思考と プレゼンテーション	人的資源管理	キャリア開発	都市と観光の マネジメント			
			コーチング	異文化マネジメント				
	アカウンティング		企業倫理	マーケティングユニット		内外金融機関の ビジネス戦略		
				マーケティングリサーチ			消費者行動	
		商品開発		サービスマネジメント				
		ファイナンスユニット						
	企業分析	統計学	M&A戦略	ストラクチャードファイナンス	ICTによる 未来創発			
			コーポレートファイナンス	投資戦略				
	技術経営		会計ユニット			介護経営		
財務諸表			管理会計					
コーポレートガバナンス		租税法						
キャリア形成プログラム	競争戦略	国際政治経済	【ビジネス科目群】		医療経営			
	マーケティング		産業動態分析	キャリア開発	フードマーケティング			
			マーケティングリサーチ	商品開発				
	組織行動		アントレプレナーシップ	ビジネスプラン		ファッション マーチャンダイジング		
		異文化マネジメント	イノベーション戦略					
	ファイナンス	企業倫理	サービスマネジメント					
			【会計ファイナンス科目群】		ほか			
	アカウンティング		統計学	財務諸表		管理会計		
				コーポレートファイナンス		M&A戦略と企業価値評価		
		投資戦略		コーポレートガバナンス				
	企業分析	経営リテラシー						
	技術経営	会計リテラシー						

修了に必要な修得単位：46単位以上

修了に必要な修得単位：46単位以上

出身学部(立命館大学/立命館アジア太平洋大学から進学した者)

立命館大学：経営学部、経済学部、産業社会学部、政策科学部、文学部、法学部、理工学部
立命館アジア太平洋大学：国際経営学部

コースの紹介

市民的な感覚を備えながら、地球的な規模で考え行動する「地球市民法曹」の養成を目指します。

法学未修者コース(3年制)

法学既修者コース(2年制)

※各コースは入学試験時の入試方式(受験科目)で判断されます。出身学部・学科とは関係ありません。

カリキュラムの特徴

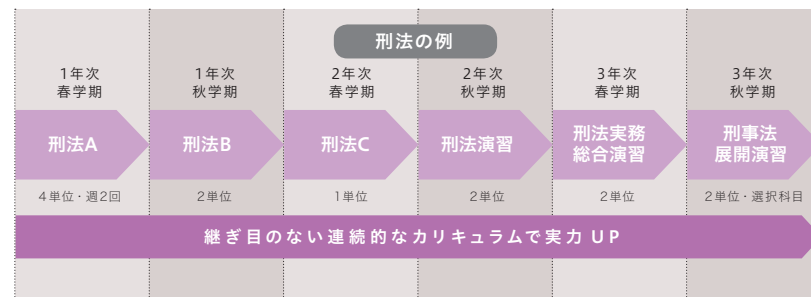
基本的な力を確実に身につけ、国際舞台でも地域社会でも活躍できる法曹を育成する充実のカリキュラム。

司法試験突破へ専念できるカリキュラム構成

法科大学院修了直前の3年次秋学期(既修者コースは2年次秋学期)は、最後の総仕上げで一番大切な時期。必修科目は配置されていないため、「民法展開演習」「刑事法展開演習」などの選択科目を受講し、自らの学習の進み具合に応じた学習ができます。

密度の高いカリキュラム

法曹となるための基本的な力を身につける「法律基本科目」では、主要3科目(憲法・民法・刑法)が1年次春学期から3年次春学期まで全セメスターに配置されています(未修者コースの場合)。更に選択科目を新たに設け、民法・刑法は3年次秋学期まで継続して受講できます。本研究科のカリキュラムは、既修者コース・未修者コースとも着実に実力をつけることができる構成になっています。



多様なニーズに応える潤沢な選択科目

司法試験選択科目に備えるだけでなく、法曹として将来の専門性を高めていくため、特に重要な8分野で各8単位分の授業を用意しています。断片的で自学自習に頼りがちなこれらの分野で、手厚いサポートを受けて学習することが可能です。

法実務の現場を必ず体験(実習科目)

法曹として実際に活躍する現場を早い段階で体験することは、学習を進める上で大きな刺激になるばかりか、将来の進路希望を考える際にも非常に参考になります。また、実習を通じて実務家との人脈づくりにもつながります。教員(弁護士)と共同で実際の法律相談を受付ける「リーガルクリニックI」、女性や人権問題を専門に扱う「リーガルクリニックII(女性と人権)」、弁護士事務所・企業法務部・地方公共団体での研修「エクスターンシップ」を用意しています。このうち一つを必ず履修します。

苦手意識をもつ方が多い「訴訟法」分野を大幅強化

2020年4月入学者からの新カリキュラムでは、苦手な方も多い「民事訴訟法」「刑事訴訟法」の学習を一層強化しています。「民事訴訟実務の基礎」「刑事訴訟実務の基礎」を新たに開設し、それぞれ裁判官教員と検察官教員・弁護士教員が担当します。現職の実務家が担当することで、リアルな実務の流れに触れながら理解を深めることができます。また、学習が進んでいる方を対象に入学前に「履修免除試験(民事訴訟法・刑事訴訟法)」を実施します。そのほか、新カリキュラムでは、「行政法」についても、「行政法演習I」「行政法演習II」を新設し、法科大学院入学後に確実に力がつくようにします。これに併せて入学試験では「行政法」試験を廃止しています。

充実した給付奨学金

金額	S奨学金	A奨学金	B奨学金
	年間授業料×2年連続給付* (1,325,800円)	年間授業料×1年間 (1,325,800円)	60万円×1年間
期間	未修:最長3年間 既修:最長2年間		

S奨学金・A奨学金・B奨学金給付後は、全学生を対象に前年度の成績により毎年成績優秀者に奨学金を給付します。

2020年度入学者には全員に奨学金が給付されました

法学未修者
コース合格者にも
S奨学金あり!



教職研究科とは

学校現場は、いじめや不登校などの複雑化・深刻化する教育課題への対応、「主体的・対話的で深い学び」を実現する新しい発想での授業の実施、グローバル化課題への対応など急速な変化の中にあります。このような状況で教員にはより一層の高い指導力、実践力が求められており、その力を高めていくのが今後の教員養成・現職研修の中核を担うとされている教職研究科(教職大学院)です。教職研究科(教職大学院)は、急速に変化する社会の中で、新しく求められる高度な教育実践を行い、学校現場の課題に柔軟に対応できるよう、教員としての総合的な力を身につけるための専門職大学院です。これまでに法学部、産業社会学部、文学部、映像学部、経済学部、理工学部、情報理工学部、生命科学部、スポーツ健康科学部と様々な学部から教職研究科に進学しています。他大学出身者、公立学校や本学附属校の現職教員なども進学しており、多様なバックグラウンドをもつ院生同士の学び合いによって、教員としての力を高めていくことができます。

立命館大学大学院教職研究科の特長

教職研究科では、「理論と実践の融合・往還」をキーワードにしています。長期実習や授業内でのフィールドワークを通して、理論の実践化と実践の理論化をはかる学修が展開されます。本学教職研究科は京都府、京都市、滋賀県、大阪府、大阪市の5教育委員会と連携しており、多彩な学校での実習やフィールドワークを経験することができます。また、小学校、中学校、高等学校のどの学校種にも対応するカリキュラムを用意しています。さらに、「臨床教育」、「教育方法・学習科学」、「国際教育」の3コースを設定しており、入学後にいずれかのコースを選択し分野ごとの専門性を深めることができます。

科目例

科目区分		科目名
共通基本科目		カリキュラムデザインの理論と方法 教育方法・学習科学の理論と実践 生徒指導・教育相談実践演習 学校マネジメントの理論と実践 現代の学校と教育実践 国際教育の理論と方法 など
専門実習科目		教職専門研修1～4
コース科目	コース共通科目	学校内外の連携による 児童生徒支援 など
	コース必修科目	臨床教育 学校教育相談・学校カウンセリングの 理論と方法 など
		教育方法・学習科学 授業におけるICT活用 など
		国際教育 世界の子どもと教育支援 など

教職研究科で取得可能な専修免許状

小学校教諭専修免許状

中学校教諭専修免許状

(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、
技術、家庭、英語、宗教)

高等学校教諭専修免許状

(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、
書道、保健体育、家庭、情報、工業、商業、福祉、
英語、宗教)

*専修免許状の取得には、一種免許状を取得していることが条件となります。

現職教員への支援～働きながらの学びをサポート～

長期履修制度

職業を有することにより、標準修業年限(2年)を超えて計画的に教育課程を履修することができる制度で、2年間の学費で3年または4年間で学ぶことができます。

「教職専門研修」の特例

一定期間の実務経験がある現職教員については、本人の申請と研究科での審査を経て、「教職専門研修」の一部の履修が免除されます。

時間割における工夫

長期履修制度を活用する現職教員院生のために、3年間で科目がローテーションし、3年に一度は必ず夜間時間帯に科目が開講される工夫をしています。

利用しやすい学修環境

朱雀キャンパスは交通の便もよく、また「リサーチライブラリー」(図書館)は、日曜日は大学の休暇期間を除いて9時から22時まで開館、「院生自習室」や「教職研究科共同研究室」などの学修スペースも夜間時間帯まで利用できます。

お問い合わせ先・移転情報

■入学後のカリキュラム、研究内容、指導教員、出願書類に関するお問い合わせは…

研究科	事務室	連絡先	
法学研究科	法学部事務室	075-465-8175	law@st.ritsumei.ac.jp
社会学研究科	産業社会学部事務室	075-465-8184	shaken1@st.ritsumei.ac.jp
国際関係研究科	国際関係学部事務室	075-465-1211	ir-adm@st.ritsumei.ac.jp
文学研究科	文学部事務室	075-465-8187	letters@st.ritsumei.ac.jp
映像研究科	映像学部事務室	075-465-1990	rugseizo@st.ritsumei.ac.jp
言語教育情報研究科	衣笠独立研究科事務室	075-465-8363	doku-ken@st.ritsumei.ac.jp
先端総合学術研究科		075-465-8348	
経済学研究科	経済学部事務室	077-561-3940	gs-ec@st.ritsumei.ac.jp
スポーツ健康科学研究科	スポーツ健康科学部事務室	077-561-3760	spoken3@st.ritsumei.ac.jp
食マネジメント研究科	食マネジメント学部事務室	077-561-4801	gs-rmbk@st.ritsumei.ac.jp
理工学研究科	理工学部事務室	077-561-2624	rikou-in@st.ritsumei.ac.jp
情報理工学研究科	情報理工学部事務室	077-561-5202	gsise@st.ritsumei.ac.jp
生命科学研究科	生命科学部事務室	077-561-5021	in-gsls@st.ritsumei.ac.jp
薬学研究科	薬学部事務室	077-561-2563	pharm1@st.ritsumei.ac.jp
経営学研究科	経営学部事務室	072-665-2090	gsba-1@st.ritsumei.ac.jp
政策科学研究科	政策科学部事務室	072-665-2080	gspas-adm@st.ritsumei.ac.jp
人間科学研究科	総合心理学部事務室	072-665-2190	sinri01@st.ritsumei.ac.jp
テクノロジー・マネジメント研究科	OIC独立研究科事務室	072-665-2100	motkoho@st.ritsumei.ac.jp
経営管理研究科		072-665-2101	rbs-ras@st.ritsumei.ac.jp
法務研究科	朱雀独立研究科事務室	075-813-8272	rits-ls@st.ritsumei.ac.jp
教職研究科		075-813-8269	kyoken-s@st.ritsumei.ac.jp

窓口時間(ご質問・ご相談は以下時間内をお願いいたします)

(月～金)10:00～11:30、12:30～17:00

(夏期・冬期・春期休暇中)13:00～17:00

※土日祝、大学の一斉休業期間中は対応していません

■大学院全般、Ritsu-Mate操作に関するお問い合わせは…

大学院課 075-465-8195 graduate-studies@st.ritsumei.ac.jp

映像研究科・情報理工学研究科 2024年4月に 大阪いばらきキャンパスへ移転 「ソーシャルコネクティッド・キャンパス」の創造を目指します

個性ある2学部2研究科の移転を機に、立命館は大阪いばらきキャンパス(OIC)を「ソーシャルコネクティッド・キャンパス」、すなわち、社会課題を解決するための実証実験や価値創造が行われる、社会とのつながりと拡がりをもったダイナミックなプラットフォームへと改革を進めます。さらに、OICの成果を他キャンパスの教育・研究へも展開し、新たな教育・大学のあり方を示し、学生・院生・研究者の満足度のみならず、企業や自治体などからも「連携したい」と期待されるキャンパスを形成します。

学費について(2021年度入学者適用)

2022年度の入学者に適用する学費および諸会費は、2021年6月に決定する予定です。以下は2021年度の入学者に適用する学費を参考として掲載しています。
なお、本学の学費は、入学金と授業料で構成されています。

■入学金

(単位:円)		
区 分	名 称	金 額
入学、転入学	入学金	200,000

※1 以下に該当する本学園出身者からは、入学金を徴収しません。
(1) 本大学または立命館アジア太平洋大学の学部を卒業または大学院を修了した者が、本大学院に入学する場合
(2) 本大学または立命館アジア太平洋大学の学部から引き続き本大学院に入学する場合
(3) 本大学または立命館アジア太平洋大学の博士課程に標準修業年限以上在学し、博士論文以外の修了要件を満たし退学した者が、本大学院に入学する場合
※2 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

■2021年度入学者に適用する大学院授業料

注意：・ 社会的な情勢の急激な変化等、やむを得ない状況への対処として授業料の変更を行うことがあります。
・ 学費とあわせて、入学年度に諸会費の納入をお願いしています。詳細については、入学試験要項を参照してください。

〈4月入学〉

春学期授業料：4月1日から9月25日の授業料
秋学期授業料：9月26日から3月31日の授業料

〈9月入学〉

秋学期授業料：9月26日から3月31日の授業料
春学期授業料：4月1日から9月25日の授業料

※9月入学者が入学手続時に納入する授業料は、1年次秋学期授業料のみとなります。

1) 修士課程・区分制博士課程

(1) 修士課程・博士課程前期課程

(単位:円)

所 属	名 称	1年次			2年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
法学研究科、経営学研究科、社会学研究科、政策科学研究科	授業料	380,300	380,300	760,600	380,300	380,300	760,600
経済学研究科 (MPEDコースを除く)	授業料	380,300	380,300	760,600	380,300	380,300	760,600
	MPEDコース	授業料	456,300	456,300	912,600	456,300	912,600
文学研究科 人文学専攻	授業料	380,300	380,300	760,600	380,300	380,300	760,600
文学研究科 行動文化情報学専攻	授業料	391,000	391,000	782,000	391,000	391,000	782,000
国際関係研究科 (GIRPを除く)	授業料	380,300	380,300	760,600	380,300	380,300	760,600
	GIRP	授業料	456,300	456,300	912,600	456,300	912,600
人間科学研究科、 スポーツ健康科学研究科	授業料	431,000	431,000	862,000	431,000	431,000	862,000
言語教育情報研究科	授業料	405,600	405,600	811,200	405,600	405,600	811,200
理工学研究科 (数理科学コースを除く)	授業料	583,100	583,100	1,166,200	583,100	583,100	1,166,200
	数理科学コース	授業料	545,000	545,000	1,090,000	545,000	1,090,000
情報理工学研究科、生命科学研究科	授業料	576,600	576,600	1,153,200	576,600	576,600	1,153,200
テクノロジー・マネジメント研究科	授業料	591,200	591,200	1,182,400	591,200	591,200	1,182,400
映像研究科	授業料	610,800	610,800	1,221,600	610,800	610,800	1,221,600
薬学研究科	授業料	576,600	576,600	1,153,200	576,600	576,600	1,153,200
食マネジメント研究科	授業料	400,600	400,600	801,200	400,600	400,600	801,200

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。

(2) 博士課程後期課程

(単位:円)

所 属	名 称	1年次			2年次			3年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
全研究科	授業料	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で各研究科の修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

2) 一貫制博士課程

(単位:円)

所 属	名 称	1年次			2年次			3年次			4年次			5年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
先端総合学術研究科	授業料	405,600	405,600	811,200	405,600	405,600	811,200	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

3) 4年制博士課程

(単位:円)

所 属	名 称	1年次			2年次			3年次			4年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
薬学研究科	授業料	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000	250,000	250,000	500,000

※年次に関わらず、在学期間が標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、標準修業年限を超えた者で修了要件のうち博士論文以外の要件を満たした者の授業料は学期あたり100,000円となります。

4) 専門職学位課程

(単位:円)

所 属	名 称	1年次			2年次			3年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
法務研究科	授業料	662,900	662,900	1,325,800	662,900	662,900	1,325,800	662,900	662,900	1,325,800

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、在学期間(2年修了課程においては2年、3年修了課程においては3年)を満たす者に限ります。

所 属	名 称	1年次			2年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
経営管理研究科	授業料	632,400	632,400	1,264,800	632,400	632,400	1,264,800

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は該当する回生の2分の1となります。

所 属	名 称	1年次			2年次		
		春学期	秋学期	(年次計)	春学期	秋学期	(年次計)
教職研究科	授業料	456,300	456,300	912,600	456,300	456,300	912,600

※年次に関わらず、標準修業年限を超えた者の授業料は上記の2分の1となります。ただし、在学期間(2年)を満たす者に限ります。

CHECK IT

奨学金・助成制度の利用例(法学研究科の例)

本学では、授業料に関する奨学金に加えて研究活動に対する給付型の助成制度を多数取り揃えており(P15)、奨学金・助成制度は2人に1人が利用しています。
以下は2021年度の法学研究科の例です。2022年度入学者に適用される制度は変更になる可能性があります。

博士課程前期課程1回生

■「1年次対象成績優秀者奨学金」を受給した場合

入学試験成績上位者に支給される「1年次対象成績優秀者奨学金」(20万円給付の場合)を受給した場合、授業料は約56万円となります。あわせて各種助成制度を利用することで、さらに経済的負担は軽減されます。

〔外国人留学生の場合〕

在留資格が「留学」でかつ私費外国人留学生であれば、「外国人留学生授業料減免(院生Ⅱ種)」を申請することで、授業料がさらに20%減免されます。

博士課程後期課程1回生

■「研究奨励奨学金A」を受給した場合

優秀な研究業績に応じて給付される「研究奨励奨学金」はA給付に該当すれば授業料相当額の奨学金が給付されるため、授業料は実質免除されます。
また、各種助成制度も利用することができます。

■国や外部機関の奨学金および家計急変奨学金・教育ローン

以下奨学金等の詳細については、本学奨学金ウェブサイトをご覧ください。また、内容が変更になる場合がありますので、必ず当該年度の募集要項をご確認ください。

奨学金
ウェブサイト



■日本学生支援機構大学院奨学金

対象	本学大学院に在学する者。ただし、留学生・標準修業年限を超えて在学する者を除く。	
貸与月額	《貸与》 ● 博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程、一貫制博士課程1・2回生	● 博士課程後期課程、一貫制博士課程3～5回生、4年制博士課程
	第一種(無利子)：月額5万円、8万8千円より選択	第一種(無利子)：月額8万円、12万2千円より選択
	第二種(有利子)：月額5、8、10、13、15万円より選択 ※法務研究科のみ19、22万円も選択可	第二種(有利子)：月額5、8、10、13、15万円より選択 ※ 第一種貸与者のみ「特に優れた業績による返還免除」の制度あり(申請受付は2月)。

■民間財団、地方公共団体等の奨学金事業〈学校推薦群〉〈一般公募群〉

対象	本学大学院に入学予定の者、在学する者。
学校推薦群	給付型／募集時期：2月下旬(一括募集)
一般公募群	給付型・貸与型／募集時期：随時各財団の締切による(自由応募)

■家計に急変が生じた場合の奨学金

入学後に家計の急変が起きた場合の奨学金制度は、大学独自の制度や日本学生支援機構の制度があります。
急変事由により出願要件が異なります。

■各種教育ローン

低金利で利用できる教育ローンを紹介しています。

●国の教育ローン ●セディナ学費ローン ●オリコ学費サポートプラン ●滋賀銀行ジャストサポート

大学院入試 出願の流れ

STEP 1 入学したい研究科を決める

立命館大学大学院には、幅広い研究分野に対応する多数の研究科があります。
あなたが希望する研究分野を扱う研究科は、一つとは限りません。
まずは自身の研究分野の<キーワード>に関連する指導教員を【立命館大学研究者学術情報データベース】で検索し、
教員の所属する研究科の中から検討することをお勧めします。

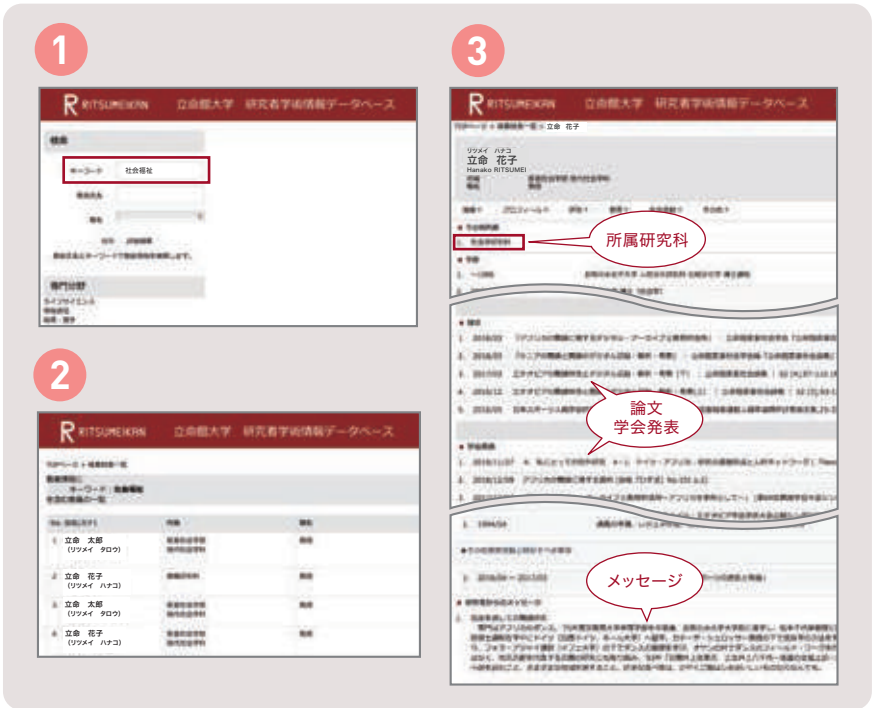
- POINT**
- ・立命館大学研究者学術情報データベースで検索
<https://research-db.ritsumei.ac.jp/rithp/TOP>
出願前に希望する指導教員を決める研究科もあります。
入学試験要項で、各研究科の出願方法をご確認ください。



検索方法

- 1 興味を持っている研究内容や分野について、キーワードを入力して検索
- 2 検索したキーワードに関連する研究を行っている教員の一覧が表示されます。キーワードがマッチしている教員の名前をクリックしてください。
- 3 所属している研究科・研究テーマなど、教員情報の詳細が表示されます。各研究科のウェブサイトには、カリキュラムの特徴や教員などの情報が詳しく紹介されています。候補の研究科が決まったら、研究科ウェブサイトにもアクセスしてください。

立命館大学 ○○研究科 検索



STEP 2 入学試験要項を確認する

研究科別の「入学試験要項」と、各研究科共通の注意事項を記載した「入学試験要項(別冊)」があります。
入学試験要項ダウンロードサイト <http://www.ritsumei.ac.jp/gr/exam/point.html/>

- POINT**
- ・入学時期をチェック
「4月入学」「9月入学」があり、研究科や入試方式などによって異なります。
 - ・入学試験方式を検討
各研究科に、様々な入学試験方式があります。自身の条件にあった方式を検討してください。
 - ・出願資格・出願書類の確認
出願資格を満たさない場合、事前の個別審査によって出願を認める場合があります。出願資格をよく確認して、必要な場合は個別審査申出期限までに申出を行ってください。



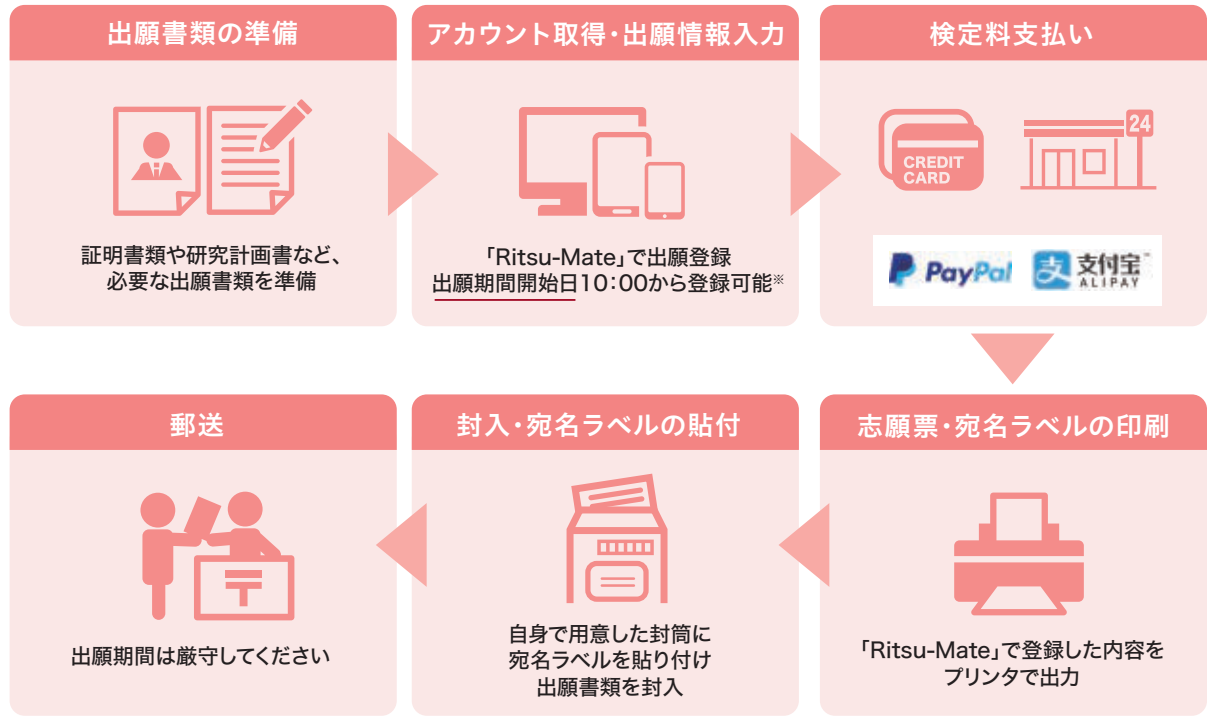
- よくある質問**
- Q. 事前に指導を希望する教員と連絡をとる必要がありますか？**
A. 研究分野のミスマッチを避けるため、教員への事前相談を求めている研究科や入試方式がありますが、事前相談を必要とする場合は入学試験要項に記載しています。希望する研究科の入学試験要項をご確認ください。
- Q. 指導を希望する教員と連絡をとりたいのですが。**
A. 「立命館大学研究者学術情報データベース」や各種ウェブサイト上にメールアドレスを公開している教員については、相談事項を明確にしたうえで、連絡をとっていただくことができます。公開されていない場合は、志望している研究科の事務室に問い合わせてください。なお、個別の問い合わせにに応じていない教員や研究科もありますので、あらかじめご了承ください。

STEP 3 出願する

立命館大学大学院インターネット入学システム「Ritsu-Mate」(リツメイト)を使用します。 ※一部入試方式を除く



「Ritsu-Mate」



- POINT**
- ※アカウントは出願期間前でも取得できます。事前に取得しておくことをおすすめします。
 - ・「Ritsu-Mate」の入力だけでは、出願手続は完了しません。

STEP 4 受験準備～受験

「Ritsu-Mate」を使用して出願した場合、受験票は「Ritsu-Mate」からダウンロードできます。
書類選考など、試験日設定の無い試験の場合も、受験票をダウンロードして受験番号を確認することができます。

- POINT**
- ・「Ritsu-Mate」を通じてお知らせが送信される場合があります。
 - ・災害等により、「試験予備日」に入学試験を延期することがあります。

- よくある質問**
- Q. 入学試験の過去問題は公開していますか？**
A. 「立命館大学大学院 入試情報サイト」で、過去2年度分の入学試験問題を公開しています(一部、著作権等の理由により閲覧できない問題があります)。また、以下の窓口でも閲覧できます。
【窓口】
大学院課(衣笠・BKC)、OIC学びステーション、立命館プラザ名古屋、東京キャンパス、大阪梅田キャンパス、各研究科事務室
※各研究科事務室では、当該研究科の過去問題のみ閲覧できます。
※持ち出し・複写はできません。
※新型コロナウイルス禍の影響等により、窓口での閲覧を停止することがあります。窓口での閲覧を希望する際は、事前に閲覧可能かお問い合わせください。

STEP 5 合格発表

合格発表の10:00(日本時間)に、「立命館大学大学院 入試情報サイト」に合格者受験番号一覧を掲示します。
また、「Ritsu-Mate」にログインして、合否結果を確認することもできます。
※受験生の便宜を考慮したものであり、正式な合否の発表は合否結果通知の郵送により行います。

入学試験方式によって、上記と異なることがあります。

アクセス

(2021年3月現在)

各キャンパスへの
交通機関



衣笠CAMPUS

JR・近鉄・地下鉄 京都駅 (烏丸中央口)	市バス (京都駅前)	50	42分	立命館大学前(終点)
	快速立命館		36分	立命館大学前(終点)
	205		38分	衣笠駅前 徒歩10分
阪 急 西院駅	JRバス (京都駅)	高雄・京北線 立命ライナー(快速)	30分	立 命 館 大 学 前
	205		13分	衣笠駅前 徒歩10分
	快速立命館		15分	立命館大学前(終点)
	臨		17分	立命館大学前(終点)
阪 急 大宮駅	京福 (西院駅)	嵐山本線・北野線 (帷子ノ辻乗換)	22分	等持院駅 徒歩6分
			22分	龍安寺駅 徒歩6分
	市バス (西大路四条)	52 55	25分	立命館大学前(終点)
	JRバス (西条大宮)	高雄・京北線 立命ライナー(快速)	18分	立 命 館 大 学 前
京 阪 三条駅 地下鉄 三条京阪駅	市バス (三条京阪前)	12	53分	立命館大学前(終点)
	15		34分	立命館大学前(終点)
	51		36分	立命館大学前(終点)
	59		40分	立 命 館 大 学 前
JR・地下鉄 二条駅	市バス (二条駅前)	15 52 55	約20分	立命館大学前(終点)
	JRバス (二条駅前)	高雄・京北線 立命ライナー(快速)	14分	立 命 館 大 学 前
J R 円町駅	快速立命館		8分	立命館大学前(終点)
	15		10分	立命館大学前(終点)
	臨		9分	立命館大学前(終点)
	204 205		5分	衣笠駅前 徒歩10分
	JRバス (円町)	高雄・京北線 立命ライナー(快速)	8分	立 命 館 大 学 前

びわこ・くさつ CAMPUS (BKC)

京 阪 中書島駅	京阪バス (京阪中書島)	直行便	35分	立 命 館 大 学
J R 大阪駅	JR 新快速 50分	土日祝・学休日は運行しません。		
J R 京都駅	JR 新快速 20分	立命館大学行き または 立命館大学経由 飛鳥グリーンヒル行き	20分	
JR・近鉄 奈良駅	JR・近鉄(京都駅経由)	近江鉄道バス (南草津駅)		
J R 三ノ宮駅	JR 新快速 70分			

大阪いばらき CAMPUS (OIC)

J R 大阪駅	JR 快速 11分	J R 茨木駅	徒歩 5分	立 命 館 大 学
阪 急 大阪梅田駅	阪急 準急 18分	阪 急 南茨木駅	徒歩10分	
モノレール 門真駅	14分	モノレール 南茨木駅	徒歩10分	
モノレール 大阪空港駅	21分	モノレール 宇野辺駅	徒歩 7分	
J R 京都駅	JR 新快速 12分	JR 高槻駅	快速 5分	J R 茨木駅 徒歩 5分
J R 三ノ宮駅	JR 快速 41分	J R 茨木駅	徒歩 5分	
京 阪 枚方市駅	京阪バス (枚方市駅北口)		45分	立命館大学(岩倉公園前)
阪 急 茨木市駅	京阪バス (阪急茨木)		7分	立命館大学(岩倉公園前)

大阪梅田 CAMPUS (大阪富国生命 ビル5F・14F)

J R 大阪駅	JR南口 徒歩 5分	立 命 館 大 学
阪急・阪神 大阪梅田駅	阪急中央改札口/阪神東改札口 徒歩 5分/徒歩 3分	
地下鉄御堂筋線 梅田駅	南改札口 徒歩 3分	
地下鉄谷町線 東梅田駅	北東改札口 徒歩 1分	

朱雀CAMPUS

JR・近鉄・地下鉄 京都駅	JRまたは地下鉄(烏丸御池乗換)	JR・地下鉄 二条駅	徒歩 2分	立 命 館 大 学
阪 急 大阪梅田駅	約10分	阪 急 大宮駅	徒歩10分	
	40分			

キャンパスを結ぶ
シャトルバスも運行中

正課、また課外活動に参加する本学学生のために、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)、大阪いばらきキャンパス(OIC)を
結ぶシャトルバスを運行しています。

アクセス方法の詳細は、上記QRコードを読み込みウェブサイトでご確認ください。

立命館大学大学院に関する情報の入手方法

まずはウェブサイト、各種イベントで
立命館大学大学院のことを知ってください。



イベント 情報

立命館大学大学院への進学をお考えの方に向けて、
各種イベントを実施しています。是非ご参加ください。

●研究科合同進学説明会

本説明会は研究科合同のイベントとして、春季と秋季に開催します。

- ◆実 施 内 容・・・研究科紹介、研究指導体制、カリキュラム、入試等の説明。
直接研究科の教職員に相談ができる機会です。
また、現役の大学院生と懇談できる場合もあります。

(上記は予定であり、日程によって参加研究科や実施内容は異なります。詳細はウェブサイトでご確認ください。)

●研究科別入試説明会

研究科主催で個別説明会を実施します。
開催日程については、ウェブサイトをご確認ください。

●大学院ウィーク

各キャンパスにて「大学院」に関わる企画を集中した期間に実施します(大学院授業・施設見学、教員・修士生・大学院
生との懇談や相談会、大学院に関わるセミナーなど)。低回生にも大学院のことを知ってもらい機会ですので、お気軽に
ご参加ください。日程や企画内容はウェブサイトでご確認ください(一部の企画は学内生に限る場合があります。2020
年度は11月にオンライン企画を中心に実施)。

ウェブ サイト

立命館大学大学院に関する情報について、「立命館大学大学院 入試情報サイト」から確認することが
できます。入学試験要項のダウンロードやインターネット入学システム「Ritsu-Mate」へのリンクの
他、イベント情報、過去問題、教員情報等についても掲載しています。

入学試験要項
(出願書類)
過去の入試結果
過去問題

インターネット入学システム
「Ritsu-Mate」へのアクセス

研究科合同進学説明会
研究科別入試説明会
大学院ウィーク

研究科ウェブサイトへの
リンク

- ◆立命館大学
研究者学術情報データベース
こんな研究はどの研究科でできるの？
この先生はどの研究科？
などが調べられます。
・キーワード検索
・名前検索
・所属別一覧
・研究分野別一覧 など・・・

教員情報の検索

ウェブサイトの情報・構成は
変更されることがあります。
○2022年4月入学の入学試験要項は
2021年4月下旬公開予定です。
○2022年9月入学の入学試験要項は
2021年10月下旬公開予定です。

立命館大学 大学院 入試情報サイト

検索

URL : <http://www.ritsumeai.ac.jp/gr/>

